京城日報

朝刊と合せて八頁

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓六拾錢 一ヶ年金七圓 郵稅共
廣告料 五號活字一行金七拾錢 ▲二號活字の一行は五號活字の三行 ▲特別廣告料は相談
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 日口政太郎 京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯用 長二四五番 營業用 二六番 振替貯金口座京城三〇〇番

列强大戰

▲墺帝重患

墺國皇帝フランツヨセフ陛下は病狀頗る重態なりオーストリー大公、匈牙利首相チッサ伯、墺國外相ブリアン男等病褥に招致せられたり(倫敦電報)

▲旅券請求

勃都四國公使

ソフィア來電に曰く、九日露英佛伊各國公使は旅券を請求せり(倫敦電報)

▲獨軍愈侵入

伯林公報に曰く、獨軍の大部隊はドリナ、サーヴ及び多惱河を横斷して塞國に侵入せり(紐育電報)

▲佛國全線砲撃

巴里來電に曰く、佛軍の砲兵は全戰線に亙りて敵に猛烈なる砲撃を加へたり夜間發表の公報に據れば七日シヤンパニュに於ける佛軍の行動は新たなる結果を齎せり即ち砲兵援護の下に佛軍の歩兵は强襲を行ひてタウールを占領し敵の第一線の要地たるタウール高地に到著し一千の捕虜を獲たり其他の戰線に於ては砲戰のみ行はれたり(倫敦電報)

▲希相辭職事情

希臘皇帝は議會に於ける議事進行の模様及び首相ヴエネゼロス氏の宣言を審査されしが終に首相を宮中に召し其政策を承認する能はざる旨を告げしかば首相は直に辭職せり(倫敦電報)

▲希臘首相の言

皇帝との反對意見

雅典來電に曰く、希臘國首相ヴエネゼロス氏は辭職せり皇帝は現内閣の政策を支持する能はざる旨を述べたり希國民は皇帝に對し革命を以て威嚇しつゝあり三日首相は皇帝に塞耳維との同盟を守らざる可からずと言ひ獨帝が皇帝に送れる『中止を維持せば勃國の攻撃を受けざる可し』との電報に對し陛下は自國の中立を冒して之に侵入せる如き獨帝の言が我國を保護するに充分なりと思惟する也と言へり(紐育電報)

▲希臘聯合内閣

雅典來電に曰く、希臘皇帝の御前會議に前首相等出席しヴエネゼロス氏を除きザイミス氏(前首相)を首相とする聯合内閣を組織するに決せり(倫敦電報)

●西使親書捧呈

去る二十一日着任したる本邦駐箚西班牙特命全權公使スセチエー氏は八日午前十時二十分參内鳳凰の間に於て親任狀を捧呈したるに陛下には優渥なる勅語を賜りたり(東京特電)

●山縣政務總監

山縣政務總監一行は八日午後一時三十分平壤發列車にて歸任の途に就けり驛には官民多數の見送りありたり(平壤特電)

●釋王寺の農相

河野農相一行は七日午前五時三十分釋王寺假停車場到著奉迎者を案内役として前夜より出張中の村地府尹、神野分隊長等の案内にて豫定の人力車十四臺に分乘し暗き山道を松明にて行手を照らしつゝ釋王寺に著各寺の見物を終り豫定の如く八時釋王寺驛に著元山に向ひたるが農相は釋王寺に於て奇しき舊友に邂逅せり其人は當時釋王寺に溫泉場を營む宋秉畯子爵の支配人として來り居る佐瀨熊鐵氏(元平壤鑛業所理事)にて同氏は其昔自由黨時代に今の農相等と共に國事に奔走せる事ありと(元山特電)

●諸星往來

前滿鐵總裁野村龍太郎、貴族院議員淺田德則、農學博士横井時敬、統計家伊東祐穀の四氏七日夜來木し八日朝出發したり(木浦特電)

●安東縣の小澤男

赤十字社副社長小澤男は八日午前到著支部役員の茶話會に臨み終つて社業を視察午後七時より公會堂の官民歡迎會に臨みたり氏は九日朝奉天へ向ふべし(安東縣特電)

雜報

●朝鮮海研究會

九州各縣聯合朝鮮海研究會は前日の水産懇話會に引き續き八日午前九時より中央試驗所樓上に開催、岸上博士の水産事業の發達に就てと題する有益なる講話あり了つて九州各縣代表者は朝鮮沿海に對する種々の研究談を試み正午閉會、夫れより一同慶會樓内園遊會に向へるが出席者百餘名にして頗る盛會なりき

●東洋協會大會

東洋協會朝鮮支部にては十日午前十時より京城ホテルに於て大會開催に決せるは既記の如くなるが當日の次第左の如し

午前十時開會、山縣支部長開會を宣す、事務報告(印刷物配付)小松原會長祝辭、總督祝辭、會員總代祝辭、支部長閉會を宣す、食堂開始

●東洋協會講演會

東洋協會朝鮮支部にては共進會開期中内地より學識經驗ある名士の入京を機とし九日午後一時より京城ホテルに於て通俗學術講演會を開催に決し一般の來聽を希望すと當日の講演者左の如し

東洋協會々長 小松原英太郎
大學教授法學博士 山田三郎
國民新聞社長 貴族院議員 德富猪一郎

●京畿隊署長會議

京畿道警務部に於て十三日より管内憲兵分隊長分遣所警察署長會議を五日間開會すべし

●河野農相動靜

退京は十三日

農商務大臣河野廣中氏は渡邊地方局長、岡本山林局長等一行を隨へ入見農務課長、不破事務官の案内にて八日朝南大門驛發汽車にて平壤に向へり、同日は直ちに寺洞に到りて平壤鑛業所を視察し平壤に引き返へして柳屋旅館に一泊、九日午前九時發臨時列車にて鎭南浦に赴き市街及び築港視察の上午後再び平壤に歸り其れより新義州、安東縣、龍岩浦義州の各地を視察す可く入京期は未定なるも十二日午後六時三十分より朝鮮ホテルに開催の官民歡迎會に出席の筈なれば遲くとも十二日までには入京す可く一行の退京は十三日の豫定なりと

●大島次官歸東

入京中の陸軍次官中將大島健一氏は陸軍省副官三宅少佐同行八日午後七時三十分南大門發列車にて歸東の途に就く

●記者團午餐會

共進會にては八日正午より入京中なる内務省出入の大手倶樂部記者團六名を朝鮮ホテルに招待午餐會を開きたり主人側よりは兒玉總務局長、荻田課長等出席し同部本社長其他在京三四の記者陪席したり

●宮崎視察團入京

宮崎縣都城通信社主催に係る滿鮮視察團四十七名七日夜連絡船にて釜山著の處同團員中關釜連絡の爲午後十二時釜山發急行列車にて大邱に向ひ一泊の上八日午後九時南大門著入京す

●協會員朝鮮觀察

東洋協會々員中東京、名古屋、京都、大阪等の實業家其他の紳士にして本會の勸誘に依り共進會觀覽を兼ね朝鮮支部大會に出席を申込みたる向少からざるが右申込み者中には鐵道一千哩祝賀式に招待せられ既に入京せる向もある由に付ては來る十日午前十時京城ホテルに於ける支部大會には猶て出席ありたしと

●青木旅順司令官入京

旅順要塞司令官青木中將は東上の途次八日朝龍山著列車にて入京直ちに第九師團長川村中將を官邸に訪ひたるが氏は尚共進會觀覽の上九日午後發列車にて内地へ向ふ可し

●協贊會の名士招待

協贊會にては八日十二時より細川侯爵一行六名及び入京中の前田愛媛縣内務部長、森本栃木縣内務部長等を場内慶會樓に招待して午餐會を催したり

●中學校武術大會

十六日午後一時より京城中學校演武場に於て第三回武術大會開催の筈にて目下出演者詮衡中なりと

●牧瀨教授入京期

陸軍教授にして總督府囑托を兼ねたる牧瀨五一郎氏は教科書編纂に關する打合の爲め二十一日間の豫定にて京城及び慶尚南北へ出張を命ぜられたり入京期は十二日なりと

●濱尾夫人一行通過

愛國婦人會副會長濱尾夫人一行は八日午後七時二十分平壤より南大門驛通過内地へ向ふ

人事消息

▲泉末吉氏(府銀木浦支店支配人) 八日朝出發木浦へ
▲山本權十郎氏(名古屋商業會議所會頭) 八日朝入京山本旅館へ投宿
▲大谷尊由氏(本願寺連枝) 八日入京朝鮮ホテルへ
▲齊藤音作氏(營林廠長) 八日朝歸任
▲柴田家門氏(貴族院議員) 七日入京總督府に入る
▲高橋醫學博士 同上
▲谷口留五郎氏(福岡縣知事) 八日朝歸任
▲齊藤糸平氏(鏡城慈惠醫院長) 七日入京
▲岩瀨友次氏(全羅南道慈惠醫院長) 同上
▲阿部秀次郎氏(鮮銀平壤支店長) 七日入京
▲村上紋四郎氏(愛媛縣會議長) 七日入京不知火へ
▲佐竹義準男 九日午前八時五分南大門發歸東
▲大野主計正(第九師團經理部長) 北鮮部隊經理檢査の爲め八日朝出發元山へ
▲藤浪鑑氏(醫學博士京大教授) 八日夜入京

觀覽團消息

▲内地西部鐵道管理局主催共進會觀察團百十名(七日入京)▲論山公立普通學校團體三十三名(七日入京)▲龍仁三百七十九人▲安邊百二十二人▲楊州普通學校百四人▲楊平九十八人▲尚州郡百七十七人▲鐵原普通學校百八人▲全州農學校生徒百十九人(七日共進會觀覽)▲洪原八十九人▲鏡城四十一人▲龍岡普通學校四十一人▲安州同上二十一人(七日入京)▲釜山中學校二百人▲平澤普通學校二十五人▲成觀小學校二十九人▲長湍四百六十六人▲杆城普通學校四十一人(八日朝入京)

共進會入場者

七日(木曜日、晴)

▲晝間 一萬零八十一人
　内地人 二千四百十二人
　朝鮮人 五千九百八十四人
　支那人 四十八人
　其他外人 三十二人
　無料者 一千六百零五人
▲夜間 三千四百六十六人
　内地人 九百五十五人
　朝鮮人 一千九百四十四人
　支那人 十二人
　其他外人 十三人
　無料者 五百四十四人
團體入場者 二千九百四人
▲合計 一萬三千五百四十七人
△開場以來累計▽
　晝 三十二萬二千三百九十九人
　夜 十五萬二千三百三十六人
▲總計 四十七萬四千七百卅五人

●九月水揚及び漁況

仁川港に於ける九月分水揚高は鯛六千五百貫にて單價十五圓計九千七百五十圓、鮃百貫にて八十圓目張三百貫にて二百五十五圓にべ一千五百貫にて九百圓鱸四百貫にて百二十圓鮑二千貫にて一千四百圓海鰻二百貫にて百六十圓海老四十貫にて六十圓鱧二千貫にて一千二百圓

▲鱈四百貫にて三百六十圓鯖七十貫にて七十圓鰮三百貫にて一千五百圓鮪四百貫にて三百圓えび二百貫にて八十圓小鮑五百貫にて二百圓乾魚五百貫にて二百五十圓雜魚四百七十貫にて二百三十五圓にして合計一萬五千八百八十貫にて價格一萬五千六百七十圓なり前月は總計一萬六千四百七十二貫にて價格は一萬三千四百五圓なり之に由り是を觀れば前月は其數に於て九月中より多きに拘はらず價格に於て九月分より少量なるが之九月中は高價なる魚類多かりしに依るものなり本月中漁業概況は

▲百五十隻

仁川港を中心として漁業せる漁船數百五十隻にして九月初旬に於る暴風雨の爲め初旬に於ては面白からざる漁況なりしも中旬後天候回復の爲め操業大に捗取り加之本年は例年に比し秋鯛漁の好況なりし爲め意外に好成績を擧げたるに至れ、而して共進會開催に伴ひ魚價の騰貴は自然の結果を來すべく豫想されたりしも事實は之に反し魚價の下落を來せり之れ經濟界不振の結果なりと思考さる當月水揚金額は昨年當月に比し金額に於て五千二百圓數量に於て四千貫を增加せり消費先は仁川市内二割京城龍山は五割其他三割なり

南言北語

●毎日支那問題で恐れ入るが歐洲戰爭も大した變化がない何うしても目下の興味ある問題は▲お隣の帝政問題である▲が、黎、瑞の大立物が病床にあつては何だか物足らぬ心知がする▲又た徐世昌も不快を懐いて元老院に引つ込むらしい其代り揚士琦が國務總理になるらしいから帝政派は氣焰益々上る譯だ▲袁總統は去る四日股肱の倪嗣冲氏を竊かに南京に遣はし▲馮國璋將軍に辭職を强要した結果馮將軍は直に辭職を電請した▲此の事を傳聞した部下の約二箇師團の軍隊は大に憤慨し中央政府に抗命違約し大事件が勃發し相なと云ふ▲乾燥び切つた處だから何處か一箇所に火が付くとバリ〳〵四方で燃えだすかも知れない▲唐書に西域賈胡得美珠、剖腹而藏之、愛珠而不愛其身也と云ふ一句がある▲東歐でも勃牙利がとうど剖腹藏珠で戰亂に投じかけたが終りを全ふすれば好いが▲唐書の本家の方々へも此の一句を進上したいものだ▲袁總統は近來頻な我支那顧問や我接壤地大官に贈章して居る▲今度亦た高田文相、山川帝大總長に一等嘉禾章、福原文部次官、田所普通局長、松浦專門局長、手島工業長、瀨戸一高長、大隈總理秘書等に二等嘉禾章を贈與した相なまさか大學令改正の功でもあるまい▲と書て居る處へ墺國皇帝フランツヨセフ老陛下は危篤に陷つて居ると云ふ電報が來た▲皇儲暗殺から端なくも今日の大戰亂を捲起し▲遂にはカイゼルの犧牲になつて八方敵を受けつゝある墺國老皇帝の心中は誰れでも質に同情する▲而して其の崩御を傳へられた事も一再ではないが今度と云ふ今度は事實であらう▲巴爾乾更に大に亂れて國家の安危益々迫るの秋▲此の大凶あるは墺國の爲め由々しき大事であつてお氣の毒千萬である

即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ノ當日(十一月十六日)地方ニ於テ饗饌ヲ賜ハセラルル者ノ宿所氏名等届出方

九月二十九日官報第九百四十八號(朝鮮總督府官報十月五日第九百五十一號轉載)大禮使告示欄掲載

即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ノ當日(十一月十六日)地方ニ於テ饗饌ヲ賜ハセラルル諸員中第一ノ一項ヨリ第十八項ニ至ルマテノ各項(即チ左記)ノ諸員等ニ該當スル者即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ニ召サレタル者ヲ除クハ其ノ宿所氏名並當該資格ヲ大禮使ヨリ十月二日官報第九五一號(朝鮮總督府官報十月七日)廣告欄ニ掲告セラレタルニ付當府管内居住ノ各該當者ハ本月十日迄ニ直接京畿道長官宛書留郵便ヲ以テ屆出ラレタシ此屆出ヲ怠ルトキハ饗饌ヲ賜ハセラレサルヘキ恐レアリ深ク注意セラルヘシ

一 高等官
二 高等官待遇
三 有爵者
四 從六位勳六等以上ノ有位帶勳者
五 襃章受領者
六 綬襃章受領者
十八 在職年判任官二等以上

大正四年十月七日 京城府

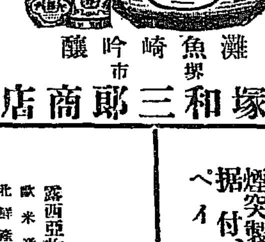
株式會社平安農工銀行安州支店所在地ヲ左ノ通リ變更ス
一、平安南道安州郡州内面七星里
右大正四年十月六日登記
海州地方法院瑞興支廳

來る十日本會總會に參列の會員は必ず午前八時卅分迄御來會相成度候也
朝鮮醫學會

期米 取引確實
定期米賣買之栞無代進呈 前金注文は紹介を要せず
大阪市北區堂島濱通一丁目 大阪堂島米穀取引所仲買人
入江商店
電話長 一九六 二七九五 三六一

祝 共進會紀念即賣會
書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒
貴顯紳士諸彥の御土産に 適當品澤山
本町二丁目裏通(電話七八四番)
京城競賣株式會社
正札附陳列 縱覽無料 自午前八時至午後六時
共進會

電話九九八番

九月廿日より
冷卸發賣
醇良 清酒


灘魚崎 堺市 吟釀
大塚和三郎商店

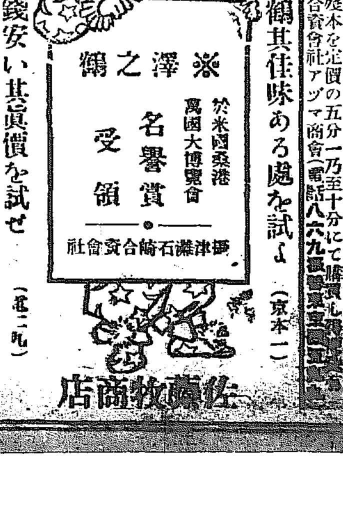
京染
染料暴騰以前見越買込有爲染代値上せず從來同直段を以て堅牢迅速に染上候
京都市柳馬場五條北入
特約取引專業
福田庄兵衞商店

滿洲へ往く人のみやげは大連で
支那の翡翠、硯、書畫、骨董に限る
大連の方外軒は之を販賣正札に賣り方外軒は北支那唯一の專門骨董店にて新時代ぶりの正直確實と云ふ定評を受け居れり

御即位式記念洋服

セビロ三揃 金十四圓均一 金十六圓均一 金十八圓均一 金二十圓均一 金二十二圓均一
オーバコート、インバネス 金二十八圓均一 金三十三圓均一
フロックコート 三揃 金三十八圓均一
ドレスコート 揃 金四十五圓均一
右何れも稍の新しい氣の利いた高尚の品全部揃へ有之候
歐洲戰亂の爲め原料拂底の所幸ひ弊店は去る一月以來非常の格安にて御即位記念の爲め例年より一層破格を以て提供可申候
東京市麴町區山元町貳丁目角
關根商會高等洋服店

帝國經濟讀書會
横濱市南吉田町四九四 合資會社アヅマ商會



壹升に付拾五錢安い其眞價を試せ
佐藤牧商店
(京本一)(電二九)

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
電話(園)三三一、二〇六、一二六〇、一六一三
支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

和洋ストーブ一式
煙突製造ストーブ据付、板硝子
ペイント塗料
京城本町二丁目
岩見伊勢松商店
長電話二一三番

露西亞物産雜貨一式
歐米洋酒食料品
北鮮産石鍋石器類
元山府仲町
西澤商店
電話四六 振替京城二七四九

各地商況

共進會

朝鮮名木眞柏 閑院宮殿下の御目に止つた

過回共進會に台臨遊ばされた閑院宮殿下が會場内で御買上になつた出品物中特に朝鮮名物のビヤクシン樹

▼盆栽があつた のは有繋に日頃盆栽を愛好せらるゝ殿下の御趣味の程を窺はれるゝであるビヤクシン樹は鮮語の(향나무)で鮮人は一般に香木と書く此の樹は針葉樹の趣きあるもので中には鬱陵島あたりから出品された板材の如く隨分大きな幹もあるやうだが併し高山の絶巓岩壁の間に生ひ立つたものは雨打風擢好者の垂涎に堪へぬものが尠くない、殊に朝鮮では到る處此の樹に富み鮮人は又老松とも呼んで

▼井戸の側に植ゑる風習もある斯くすると此の木の爲めに水の味がよくなるといふ傳説の爲めだ相なが又一方佛前に供へる香ともなるので此の樹を折ると罰が中るといふ傳説もある、元來此の樹は高山の絶巓などに多く見出すが就中南鮮濟州島の漢拏山上一千五百米突以上の處に多く又南鮮智異山から江原道の金剛山にも多く生育してゐる共進會場では勤政殿廻廊の盆栽陳列場に進品が多く出品されてあるが閑院宮殿下御買上の光榮に浴したのは京城酒井氏の出品に係る價格一百圓の鉢であつた、猶ほ此處には二十鉢ばかりのビヤクシン樹盆栽が出品されてある

大當りは吳服屋 共進會、御大典、冬物の仕入と三拍子揃て賣る〻

十月といふ聲を聞くと愈々衣替の季節に入ります京城の洋服屋吳服屋では大抵九月の末迄には多物の仕入を濟まして今は客を待つてる最中ですが何といつても今年は共進會といふ素晴らしい

■景氣のいゝ 催しがあるので其れを見越して仕入の額を殖やして居る向が尠くなく平素は家庭に引籠り勝ちの婦人達も共進會見物とか宮殿下御台臨、赤十字社愛國婦人會の總會とかに出席したりまた男の方でも何の會彼の式と外出する機會が始終あるといふ有様で、其れに一方には内地や地方から京城見物に出て來るお客様などがある爲めに從つて子供の身の周圍を美麗にするとか夜具の一枚でも新らしく調へるとかいつた風に吳服屋を賑はすことが平年よりも多いそれにまた恰度冬物仕入の時候だから各家庭でも臨時に衣類購入費を支出するので先づ洋服の方から見て行くと京城は所謂官吏の町だけあつて此の際最も注文の多いのは

■官吏の正服 で少々羊妻色に燒けたのや古ぼけたのは思ひ切つて新調する人が多く殊に地方から來た人は京城に出た序にと奮發する者が多い官吏の正服は大抵二十圓から三十圓内外で間に合ふ相で高等官でも同樣之に金筋を判任官より一本添へてある所で中にて五十圓位のものを作る向きもあるが昨年に比べると正明の新調者が確に多かつた相である夫れからフロックコートが飛ぶやうに賣れたのは是も共進會の影響だとは言はずして明かである事務服とも見るべき背廣の方には別に

■變化はない が一體洋服屋の原料品は大抵内地から引いてゐるが上等品になると外國から輸入する今年は例年より輸入品が餘程騰貴してゐるのは歐洲戰爭の影響であらうといふ和服の方は例年に比べると衣替の昨今頗る活氣づいてゐる反物類を買ふのは九分通り婦人客で絹物は銘仙が最もよく賣れる柄合ひや色どりから云へば今年は大典に因んだものが最も捌け口がいゝ大典に因んだものは茶色が多く此色は目出度いことを意味するものであるといふすべて京城を初め朝鮮は内地に比較して衣類など贅澤な方で殊に共進會を中心として

■婦人の外出 することが多い爲め婦人物や令孃用のものなど例年より賣行が多い客筋は洋服と同樣官吏の家庭が最も多く一般家庭でも衣類の新調者が多い其れに地方から入京した人が土產物や賴まれ物として序に買つて行く相で中には入京して仕立てゝある衣服を見揃へて著替る人もあるので吳服屋では意外の收入もあつたといふその餘波をうけて古著屋の方でも比較的よく捌け店頭に客の影が多い宿屋の女中などが

■思はぬ收入 が多かつたから此記念に一枚新調して置かうと吳服屋を覗くものや其他店員とか女將とか乃至は藝妓仲居なども見榮を張る商買だけに見苦しい風も出來ぬとあつて季節の衣類を奮發しそれに市中の車夫の如きも此際日鮮人千數百人の從業者が服裝を一定したなどのことあつて是等も即ち吳服屋の臨時收入になつたわけである。

大典記念京都博覽會

大典記念京都博覽會は十月一日から開催されて今や販の盛りである會場は第一第二の兩場で第一會場では工業館、圖書館、參考館、臺灣館、食料館、機械館、演技館等が

■威勢よく 建設され警察の詰所や事務所も第一場にある第二會場には美術館滿洲館大禮館京都資店を初め各府縣賣店無料休憩所運動場等立派に出來てゐる第一會場正門を這入ると最も人氣を惹いてゐるのが向つて左側の臺灣館と隣合つてゐる音樂堂である臺灣館には十四五歲の臺灣美人が〆て五人揃つて臺灣喫茶店の景況は素晴しいものだ

■物見高い 京都人初め群衆は此名物臺灣美人から所謂臺灣の烏龍茶一杯を受けやうと蝟集して來るのである其と相待つて微妙な音樂の音が晴れ渡つた秋空に旋律を漾して會苑を添へてゐるので小庭に置かれた數十脚のベンチは絶えず群集を呼んでゐる廣大な工業館壯麗な滿洲館は一目に首肯れて殊に内地人の眼には未見の滿洲館が

■珍らしく 映るらしく廣漠たる滿洲の地を廣軌機關車の疾驅する模型や無盡藏と言はれる撫順炭や大冶鐵山の標本など參觀者の實地想像の資料として充分である

家庭講演會は明夜 今八日夜は雨天の爲め中止

傘の波 雨の共進會見物

洋傘に蛇の目に番傘に久し振りの雨の日を、雨にもめげぬ見物は共進會の内外に群を爲し相合傘で列を作つた小學校の生徒の二組、白衣を雨に打たせて繰り込んだ鮮人團體も數組あつて八日の共進會場は相變らずの賑ひを呈した、各館とも『閑院宮殿下御買上品』の札を首めとして赤い賞約濟の貼り札や、朱の審査濟の印やが人々の注意を惹く、近く十日の『寶探しデー』を始め十七日の賞狀授與式當日の『婦人小供デー』その他『マラソン競爭』だの假裝行列だの藝妓、妓生の變裝見物の懸賞だのが催されるし三重號からは入場祭引換の撒布もあると云へば天氣が晴れ次第共進會を中心として京城の天地は大賑ひを現するであらう

寶探の景品は 米俵簞笥長持

共進會では來る十日の日曜日に協贊會の催しで『寶探デー』があるとは既に報じて置いたが、その賞品の内容が變更されたので再報する、一等十五圓、二等八圓二種、三等五圓三種、四等三圓五種、五等二圓十枚、六等一圓十種、それから十二等まで總額の四百圓には變りない、その賞品は一等は精米一俵と簞笥、その他のものは賣店の商品切手とか料理屋の食事切符とか色々夫れ相當の價格の物が貰へるのださうだ。

天勝一行出演 十日より演藝館にて

奇術界の女王、天勝孃は、六日夜花々しく京城に乘り込んで山本旅館に投宿してゐる、天勝が協贊會の演藝館でその濃艶な姿と、不可思議な魔術を見せるのは何日からであらうと開演の日を待ち切つてゐる人々の爲めに一言する、初日は十日で此日顏つなぎ會があつた後で盛んな町廻りをする、それから共進會に乘り込んで夜の七時半から十時半まで京阪、東京方面で大人氣、進呼物となつた魔術應用の『サロメ劇』天勝得意の奇術數番、最後に一座總出の喜劇をいふ、變化あり、面白味あり、神變不可思議な演物を全部幕無しで御覽に供する仕組

咸南の初雪

咸鏡南道豐山郡豐水院里附近にては九月二十五日の降雨以來溫度頓に下降し零下三度を示したるが翌二十六日には午前五時頃より降雪と變じ積雪一寸餘に達し本年の初雪を見たり之を昨年に比する時は二十四日早く例年に比すれば五日早しと云ふ

大分地方豪雨

七日午後豪雨降り大分縣臼杵線大備線々路崩壞し不通となりたるも八日午前開通せり門司港にて帆船一隻沈沒せり(門司特電)

京城神社秋季大祭執行

京城府民が年中行事の一となり居れる京城神社の秋季大祭は例年の通り十月十六、七、八日の三日間執行せらるべく常年は殊に共進會開會中にあたり一層盛大に執行せんため社務所に於ても其の準備に日夜忙殺されて居れり、十六日は午後六時より前夜祭執行十七日午前八時大祭、式典、同十時神輿御發幸豫定の順路を經て龍山御旅所に渡御あり、同夜は御旅所祭執行種々の餘興の催しあり、十八日朝龍山御旅所御發幸順路本社に還御あり、大祭委員としては氏子總代、町内氏子總代、評議員、京城府協員、京城日報社、朝鮮新聞社、商業會議所議員、同書記長、學校組合議員、各同業組合長に囑託せらるべく、神幸行列順、神輿の途中御休憩所等も前年通りとし、七日夜京城ホテルに協議會を開き諸事決定せり

朝鮮醫學大會

朝鮮醫學大會は來る十日十一日の兩日總督府醫院内醫學講習所に於て毎日正午前八時三十分より開會する由

石龍子入京

性相學を以て天下に有名なる石龍子は朝鮮大共進會の觀覽を兼ね來る十日入京一般の依賴に應ずる由

本願寺秋季法要

永樂町本派本願寺にては來る十日十一日十二日の三日間秋季大法要を執行し講師には大本山廟問松原深諦老師の說教あり十一日は婦人會臨時大會を開催毎日午後二時と午後八時の兩回開式

八日よりの有樂館の活動寫眞は奇想天外の拳骨和尚諸國漫遊記
三越吳服店前 百三十銀行橫 有樂館 電話二六六番

市井の塵

▲悲觀して縊死 [illegible]

▲井戸に落込む [illegible]

▲絹衣を窃取す 京城光化門通九十八番地李姓女(三四)同所[illegible]鄭姓女(五三)の兩名は[illegible]光化門通九十八番地[illegible]姓女宅に藏匿し居たりしこと發覺し三名共鍾路署に引致さる

雨の日の家庭博 熱心な家庭研究 お臺所前の繁昌

兩三日來降りみ降らずみの空模樣は遂に八日に至つて雨となつたので殘念ながら家庭博後庭で催さるゝ天洋一行の大魔術と奇術種明しは出來ず午後七時より開かるべき原田神學博士の家庭講演も雨の爲めに延期となつたが雨の日に綴つくりと家庭博を見物して研究せうと云ふ御婦人の入場者が平素より多く最初の瓦斯風呂から養老室、殊に評判の四疊半と一疊半のお臺所の前は何時も婦人の群れで押し合ひ圧ひ、中には白紙にその略圖を描いて行かれる熱心な御婦人もあり雨の日の家庭博場内は存外の盛況であつた

共進會の餘興

▲場内興行場より各賣店通路附近の地域内に於て
▲十月十日(雨天順延) 午前九時三十分開始 午後二時締切
大寶探しデー
▲寶の種類 一等拾五圓、二等八圓、三等五圓、四等參圓、五等貳圓、六等壹圓以下十貳等迄二千點總價格數百圓
▲詳細の事項は場内に掲示す

京城協贊會

共進會見物絶好のお土產は大好評の
朝鮮寫眞畫報共進會記念號に限る
會場内あらゆる風光細大洩らさず鮮明なる寫眞版に收む(定價金拾錢郵稅二錢)
但し三ヶ月分前金九拾六錢前納者は普通會員と見做し一册金三十錢の大割引特典あり賣切れぬ内御申込を乞ふ
京城大和町一丁目
朝鮮寫眞通信社發行
電話二四二九番・振替二五六五番

十月十日より十四日まで
冬もの大賣出し
京城本町
丸一吳服店

◎保險案内の御請求を乞ふ
太平生命保險株式會社
京城支部 (京城黃金町二丁目)
電話一四二〇番

浮石鹼を召さるゝお方は
何時でも
ホーム
計りです
實際ホーム浮石鹼は品質が特別に宜しくして、四季の化粧衛生に適する、御家庭向の德用石鹼です。

發賣元 東京 [illegible] 長瀨商會 大阪 [illegible] 仁壽堂分店

商況

[illegible]

大阪期米特電 [illegible]

朝鮮物產特電 [illegible]

天氣 曇り [illegible]

家庭博は私の理想

文部省通俗教育事務囑託　久留島武彦氏談

お伽噺の久留島武彦氏は六日午後登山着七日午後一時より釜山小學校にてお伽噺同夜東本願寺にて講話あり八日午前十時三十分釜山發京城に向つた其の談に曰く

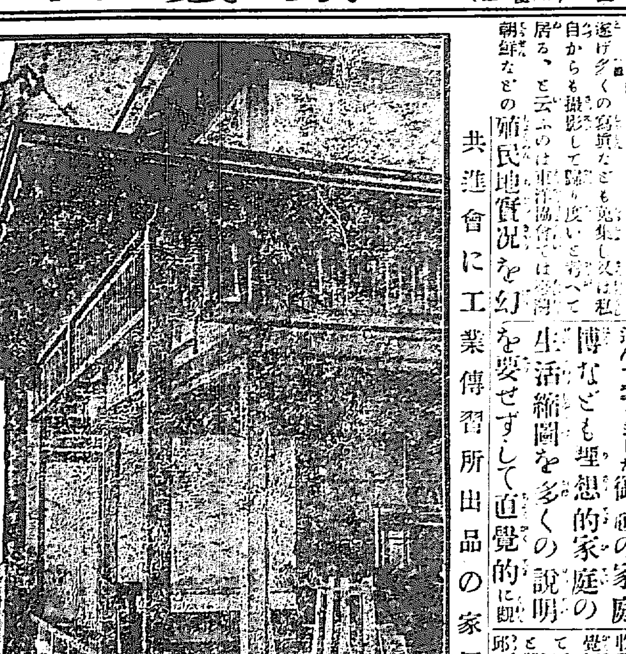
▲生た朝鮮紹介　今度朝鮮に來たのは東洋協會朝鮮支部總督府に出張方々同協會の囑託に由る朝鮮各方面の事情を調査する爲です一京城に五六日滯在。それから群山木浦方面の調査に向ふ豫定であります。私の調査は一般の統計表的の調査を避け成るべく實際に就て詳細に生きた調査を遂げ多くの寫眞なども蒐集し又は私自からも撮影して歸り度いと考へて居る、と云ふのは東洋協會では從來朝鮮などの殖民地實況を幻燈とし活動寫眞として内地各地方に巡回講演を爲し中學校商工業學校其他專門學校を卒業して實業に就かんとする青年をして此の方面に心を向はしむる樣に計畫して居るので私の調査も要するに此等講演の材料蒐集を目的として居るのであります

▲先づ近所から　近來内地の有爲な青年の間には南洋熱が盛んである、南洋開拓必ずしも惡い事ではない否寧ろ奬勵しなければならないデはあるけれども折角我が帝國の版圖に這入つた朝鮮滿洲等を自然の發達に打ち任かせて南洋などまで高飛びをする必要はない　まづ近い處から實際充實した帝國の版圖を拵へ上げた其上で南洋なり何處までなり發展して行かなければならぬそれには先づ有爲な青年の多くを此方へ引き付けなければならぬ、多數の心を此の方面へ向はしめるには從來有り來つた樣な單調な統計表的の紹介ばかりでは不可ない今少し實際的で温かな血の氣の多く有る處の紹介を爲ければならないと考へて居るのです

▲理想家庭縮圖　御社の家庭博は東京の國民新聞で開かれた時から非常に計畫で私も幼稚園兒童の製作品なども出品いたした位です殊に縮圖士の朝鮮で多く改良されたそれを見るのだと思ふと實に愉快です近來凡ての説明が平面的から立體的に進んで參りました御社の家庭博なども理想的家庭の生活縮圖を多くの説明を要せずして直覺的に觀覽者に感得せしめると云ふ上から極めて好い計畫です

▲理想的である　歐米諸國には早くから家庭博覽會と云ふ樣なものが開かれて居つた殊に盛んなのは米國でよく開かれる「子供の幸福展覽會」と云ふ會であつて子供の生産後から成長する迄の最善とする保育法に關するものを集めたもので有つて例へば子供には斯樣な部室が適當であるとか斯樣な遊戲場が好いとか子供の病氣した時は斯樣な室が好いとか玩具運動器具等を集めたものであるが之等は多く寫眞版の陳列であるから會としては經費等の上から見ても極く手輕く出來得るけれども到底御社で開いて居る樣なパノラマ的、立體式の家庭博には遠く及ばないのです此の種の博覽會としては確に理想的であり成功して居ります

▲お伽噺もする　家庭博は私の最も贊成する處ですから京城滯在中御社のお希望みとあれば私も悦んで及ぶ限りお伽噺なり家庭講話なりを致して盛况を添へる事に致します猶ほ氏はお伽劇の改良に對する種々有益な意見等も語つた



共進會に工業傳習所出品の家屋

●南鮮葉莨減收

約三割減と悲觀さる　乾燥上の特殊注意

南鮮地方に於ける本年の内地葉莨は植付期に於て非常なる旱害を受け將に枯死せんとする狀態なりしを人工灌漑を以て辛して一時を補給し得たるに其後成熟期に於て過度の霖雨ありし爲め葉質軟弱となり豫想の如き收穫を見る能はざるは一般耕作者の覺悟せし所なりしもなほ各地を通じて五百町歩十五萬貫は下らざる可しと期待し居しが近來三浪津、密陽、慶山地方に於て乾燥せし結果を見るに三浪津の如きは水害の爲め未熟葉を刈入れざる可からざる事となり葉肉の割合に水分多量にて乾燥中腐敗脫離するものさへある狀態なるが其他の地方にても葉肉發育不充分にて乾燥中全く濕氣を去る能はず往々黑褐色を呈するものあり故に耕作者は例年よりも特殊の注意を以て强度迅速の乾燥法を執らざる可らず然れ共濫に特殊方法を用ひ失敗せざる樣委細の方法は度支部專賣課大邱出張所に就きて尋ぬる方得策なり此の如き經過なるを以て本年の葉莨は品質良好ならざるのみならず實收又豫想より約三割減即ち十萬貫内外なる可しと觀測さる

●警務會議と擊劍會

忠北警務部にては八日より管内各分隊分遣所警察署長會議を開き第一日より九日午前に亘り管內狀况報告午後より檢事正判事其他の講話翌十日指示注意事項十一日道長官講話及び諸問答申事項午後櫻井隊長の訓示を以て終了同午後一時半より本部前庭に開かる可き擊劍大會に臨む筈なるが擊劍會は各隊署より劍士卅九名を招致五格試合高點試合等ある筈なるが愛に京城に開かれたる擊劍試合に於て名譽ある二等賞を贏ち得たる忠北劍士の競技試合は定めて盛况を見るべし

●清州自動車開通

請願中なりし清州芙江及び忠州間自動車は七日附を以て營業認可となり内地にて購入せる車體三臺も到着七日清州芙江間の試運轉を爲し結果極めて良好なりしかば十日より愈々營業を開始す可し兩開業當日は清州東公園に官民有力者三百五十名を招待し盛んなる祝宴會を開く可しと

●ちゝぶやの見切大賣出し

京城本町の同店にては例年の通り十月十日より五日間見切品大賣出しをなす由同店は本場織元出張にして品質の確實なる上に飛び拔けたる安賣をなし且つ專門店丈けに柄數の豐富なる等世間既に定評あり尙ほ流行の珍柄多數取揃ひ居ればどんな凝つた柄好みの御方にても同店なれば滿足を得べしと噂かし賑ふをならん

●群山より

▲梅井博士　梅井農學博士は五日群山著三番列車にて來群同夜官民合同の盛大なる歡迎會に臨み翌日早天より天野府尹の案内にて各精米所學校水道濾過池等を視察し同日二番列車にて全州に向け出發したり▲井原代議士　井原代議士は元井邑憲兵分隊長吉村博氏の案内にて六日終列車にて來群したるが氏は湖南沿線の狀况を仔細に調査する筈なりと▲群山神社　群山神社御神殿建物一切は展報の如く伊勢山田に注文し請負人中川滿榮の手に於て工事著々進捗中なりしが此程全部落成するに至り目下荷造輸送準備中にて十三日同地を發送し二十日頃群山著豫定にて同日迄には請負人は職工等を引率し來り直ちに組建工事に著手すべしと

●連絡船上陸客

七日午前入港新羅丸一二等乘客

一等(七名)[illegible]、岩井豐治、柴田家門、浩野長太郎、佐々木四方志、高橋順太郎、岡るい

二等(八十五名)永山吉太郎、鶴田直猪、坂元治右衞門、林徳禰、水間篤太郎、大橋太吉、余丸吉平、仲野俊介、田村奈良吉、湖生彦熊、柔木佳一郎、濱田傳文、川端隆道、駒彌一郎、有野駒次郎、竹内伊八、中山磊兵衞、山下德一、岩崎勞作、濱田義平、山内哲正、小林熊太郎、岡元彦、磯井鐵次郎、黑岩將平、高野吉熊、早川鷹一、龜川圭朔、兒玉新之助、黑岩徹雄、瀨戸山[illegible]、森德治、兒玉靜佐、江夏吉助、川崎善右衞門、鶴田香作、金井井對佐吉、藤崎吉助、藤崎莊佐太郎、上村榮助、瀨戸山鶴高、宮山寅左衞門、宮山[illegible]、松山司、池田清助、石村彌太、橋本千五郎、福田德二郎、國宋吉、留井八百藏、杉山米金、美馬增次郎、同つれ、同光子、三輪えつ、福岡啓三郎、樋口彦立、石黑吉、伊藤寧一、矢切眼治、矢切伊三郎、中川好太郎、今村榮三、三宅眞三郎、山根濱子、同ひろ子、同次男、松村牛吉、田口はる、澤井芳西、西山丑之助、湯澤倉次郎、中野丹秀、許斐友次郎、八稲たき、川西奥次郎、奥田ます、奥山秀雄、島崎新太郎、川口和一、宇高寧、相原熊太郎、熊戸秀雄、水野源一郎、平原篤志、奥中悅三三郎(一百〇五名)

演藝案内

壽館　〓町　電一〇五〇　●東京落語歌舞音曲々藝桂三木助一行十月五日より晴雨に不拘毎日午後六時開演　[illegible]遊亭[illegible]　入場料一等三十錢、二等二十錢、三等十錢

世界館　黃金町　電話一四三四　▲松旭齋天洋師出演▲世界的大魔術▲共進會特別興行▼每日午後七時開場　土曜、日曜、は正午開演

黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七　[illegible]

龍光館　龍山停車場前　電話(龍山)四〇番　[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三番　[illegible]

浪花館　明治町　電話一一六〇番　●いよく四日より特別大興行東京落語大一座柱小南一行來る　[illegible]

有樂館　本町　電話二六六　新築落成　[illegible]

御成座　敬町　電話二一九一　第二十七回替藝題　(一)大悲劇『軍國の花』明治の昔我全七場　(二)喜劇『お化屋』全二場　▲登場人名　伊井義次郎、石黑忠郎、桂木時夫、川上一明、芳川秀夫、吉川輝、藤井隆之介、富士野、深野健之助、酒田君夫、池繁一、瀨川二郎、早川一志、日野萬兵衞、小役水野勢子

佐久良座　龍山　吉田奈良丸一行來る八日九日新龍山佐久良座にて興行仕候本興行は先が急ぎ升故二日風雨にかゝわらず日延なし▲初日贈物、▲前前部坂雪の別れ▲神崎東下り(吉田奈良丸)

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も迅速に廉價と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候　京城日報社　寫眞製版部

國民修養の大典節

第十二版　□德富蘇峰著　生活と處世　定價金十五錢□　郵税二錢

人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、當生に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を詳明するもの也。

第五版　□德富蘇峰著　處世小訓　定價金十五錢□　郵税二錢

人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず、唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力説したる處世實學の良箴也。

第十三版　□德富蘇峰著　家庭小訓　定價金十五錢□　郵税二錢

子女教育、家政家事等の事は固より、大は家庭の感化を國家に及ぼす事より、小は花見、納涼、物品贈答の如きに至るまで、家庭に於ける百般の事項一として網羅せざるはなし。即ち本書は必讀の家庭讀本にして、之を當今の女大學、今川狀と云ふも可也。

第九版　□德富蘇峰著　文學漫筆　定價金十五錢□　郵税二錢

題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は教育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に關るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。

第廿一版　□德富蘇峰著　文學斷片　定價金二十錢□　郵税四錢

文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するもの悉くを網羅せり、斷片と稱すれども、每編悉く是れ精金美玉たり。

第六版　□德富蘇峰著　漫興雜記　定價金十五錢□　郵税二錢

昔は詩人諦うて曰く『詩多漫興無佳句』と然れども人の肺腑に徹する の天籟は、往々不用意の漫興中に於て見るべし。本書は實に著者の深奧なる思想と、人事自然の感觸とを瑰麗なる筆に託して記述せるもの、皆是れ精神的食糧の用に供すべきもの也。

大賣捌所　▲郵送料本社負擔▼　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話六六〇番

□御大典記念植樹□

果樹苗木及び草花　原産地と特約し優良品廉價提供　定價表御申越次第進呈　京日　仁川[illegible]　電話[illegible]

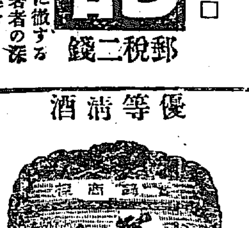
入院隨意　酒井婦人病院　京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)　電話二六〇〇番

開店御披露　今回廓内崎陽樓跡を改築開業仕候に付ては聊か自祝として本日より向ふ七日間臺附を以て勉强致候間御引立の程願上候　十月二日　仁川敷島廓内　第二敷島樓支店　電話九一六番

運動具は京城シノサキに有り　秋期カタロク進呈　京城本町二丁目　篠崎運動具店

株式會社第一銀行京城支店　資本金　貳千百五拾萬圓　積立金　九百廿五萬圓　京城本町二丁目(振替貯金京城一二番)　頭取　男爵澁澤榮一　銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候　内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

優等清酒



醸造元　福岡縣三井郡山川村　富安本店　發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番

大擴張　共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候　京城南大門驛前　武藏旅館　電話二三六四番

下關期米特電　八日前場　寄附　二、〇七　二、〇六　(後場)　二、一〇　二、一五

仁川米豆取引所　八日の十二月限　[illegible]

報

越後大評定

第七席 早川貞水口演

朝日丸の誕生

作『今夜は佛の代りに鬼の夜廻り、堅苦いだらう』甲『オーヤオヤ』作『併しながら斯う云ふ晩が、得て敵方の間者等が忍び入るやうだ、今夜は休まず、夜の明けるまで廻り續けろ』乙『ホーラ、悪口を云つたもんだから、野頭との竹篦返し、夜徹し行らせられる、凍えて了う、オー寒いッ』作『ソレ早く木を打つて四時を呼べ』甲『ヘッ』作『今夜は夜徹し廻る』乙『有り難う存じます、チョン〳〵チョ、チョーン、四時でございます……』作『コレ是から引返へさないで後の築山御殿の御庭の方を廻れ』甲『オーヤ、オヤ、今夜臨時に、餘計な所まで歩かなけりやならねえ、チョンーチョ、チョーン、四時でござ……い』探の外へ立つて、内の容子を熟と聴いたのは、鎧を着用いたし、陣笠を冠り、鐵棒の杖を支きたる本多作左衛門重次、すると内で『ヒーイ〳〵』と云ふ女の悲鳴『ハテ合點の往かぬ、今頃斯様な女の悲鳴』と思ひ 作『コレ、其方共、靜かに此處へ待つて居ろ』用意の腰から分銅の付いて居る繩を取り出し、一振り揮つてブーン、御庭の内の松の木の枝へ緊しと手からんで、グイッ〳〵と二引き許り曳くと積つた雪がバサッ〳〵と落る、十分に之を引締て置いて『エイッ』身體を輕く松の木に飛上る、と其繩を手繰り御庭内へ忍び込み、其聲を目的に御殿の御雨戸の方へ目を著け、近付き來て見れば、雪を斯く程の色白のお萬が、積れる雪の中へ緑の黒髪をふり亂し、半面燒爛れたる有様、ぴつくり飛び退き、繩を取りることにて『ハア是はしたり、この程より御主君の御内意ありしが、御用對多に就いて打捨て置きし内に、此の如き始末……コリャお萬殿、氣を確かに持たれよ本多作左衛門であるぞ、氣を確かに持て萬』『ハイ』作『ア、此方の肩に掛れ』と、片手を肩に掛け、左の手を腰の邊へ掛けて、負ふが如く、老人御庭の木戸まで參り海老錠を捻り、外へ出て 作『コレ小者』乙『ヘッ、何事で御坐います』作『其方共衣類を一枚出せ』乙『衣類も何も、合羽の他に御坐いませね』作『然らば其合羽を脱げッ』乙『合羽を脱げッて、合羽を脱ぎますと私共裸體で御坐います』作『苦しうない』乙『エー私の方が苦しう御坐います』作『速う爲え』乙『ヘエ畏まりました』是から其合羽をお萬に著せ 作『コレ一人は負つて參れ、早うせえ』そこで御自分の御小屋へ籠に伴れ參り、作『コレ、汝等この事を他言いたすと一刀兩斷に致すぞ、今宵の事は必ず內證に致せ、最早今晩は夜廻りに及ばぬ、部屋へ歸つて緩り休息いたせ、是は些少なれども酒代に取らする』甲『有り難う存じます』と若干か頂戴して 乙『うまく行つたな』甲『珍らしい事があればあるもの併しながら作爺は老ても油斷が出來ぬ、御覧、あゝ云ふ女があつて伴れて來た』乙『喋を吐ッ、然うちやねえ、何だか身體が大層惡いやうだ併し喋舌ると生命がねえ、手前も已も喋舌れねえせ』部屋へ二人は立歸りまする、此方は作左衛門、傍若を勝んで、密にお萬に手當をする當な迚なる女で御座いまして作左衛門の手當宜しきを以て、一時は如何と心配いたしたるに、取返して追々快くなる、愈よ身體が健康に成つたが可哀さうに半面火傷のため瑕か其美しさを損じました、其内に十月と云ひたいが、十二月と云ふ月を超えて玉のやうなる御男子御出生、朝日の登ると共に御誕生になりましたから、之を朝日丸と申し上げましたが、程なく此事を岡崎次郎三郎信康公へ申し上げた時に信康公が『父君の御手が落いて、生れたものであつて見れば、腹は異ふが、吾には義ある弟なり』と仰られ、義丸と御名前を下すつた、人呼んで之をお義丸様と申し上げました。

大割引 自動車 新羅一千年間の舊都(朝鮮慶州の奈良)に遊べ京釜線大邱驛より快走タッタ二時間半!更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

仁川期米

▲八日前場 大阪前場寄 [illegible]

[illegible]

▲前場は不變 [illegible]

▲賣氣旺盛なり [illegible] も賣物多く六錢さ不勢の散狀を告げたり

▲富限大解合 [illegible] に斯る買人氣を見るは大に注意を要するならん

仁川正米 [illegible]

京城正米

[illegible]

南大門穀米

[illegible]

○釜山(七日の穀物) [illegible]

下關相場

[illegible]

十月十日九星 舊九月二日甲戌 本命五黄 八方塞 西南

▲五黄 傲氣味の事有日 落附て新事見合神佛の事は吉晦朔なし▲六白 潔き日 轉居旅行入門名弘家作求職 揮毫 金談 緣談入道 破産の日轉居行商 入學名弘求職 金談 緣談 婚禮 帶祝 等 萬吉▲七赤 洋山 池塘 萬吉▲八白 骨折損の事有日 新事手控新事 土工は妨なし▲九紫 和運の日轉居行商 入門求職 棟上 金件 組合資組合を結ぶ吉▲一白 拍子ぬけのする事有日 新事手控萬事は吉 一切のかけ事せぬがよし▲二黒 氣厭きの事有日 新事手控萬事は吉婦人と交渉を忌む▲三碧 氣短りのせぬ事多き日 新事手控萬事園熟は妨なし▲四緑 化かしに來る事有日 新事手控萬事は吉甘き相談に乘る勿れ

▲廣告▼

月やく

月やくさまり他の頭た用ひ効なく御心配の方東京で一番信用ある私方へ三錢切手添申込あれ害なく不思議に下る妙藥を知らせす 東京市四谷信濃町停留場前 森田屋

入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚科 徽毒科
皮膚病 徽毒 淋病 膀胱 生殖器病 機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町)
佐藤醫院 (電話一一七三番)

新柄流行 縞セル 壹反タッタ 壹圓五拾錢
東京市日本橋區本石町一丁目吳服問屋 堀谷商店にては今回縞合新品を買ひ求め一見どうしても原價五十錢以上の品に負けぬ縞セルの投賣を始めたが何れも幼稚一反タッタ一圓五十錢特別製一反タッタ二圓五十錢九で只の樣な法外の廉値に投出し且つ賣出し記念として [illegible] を一反の注文に一個宛無代進呈す [illegible] 代金引換送料も實費で送る

ぶよぶよも 男子用サック
定價 甲種一個金七拾五錢 乙種一個金七拾錢 [illegible] 極上品一打金八拾錢 五打金參圓五拾錢 上等品一打金五拾錢 五打金貳圓 並品一打金參拾錢 五打金壹圓五拾錢 ◉實費送料各八錢 [illegible]
東京市日本橋區米澤町二丁目角 吉田萬珠堂 振替口座東京二三〇六番

◉御顔下より醜狀種々看院す
あざ そばかす ほくろ 今スグなほせ
陸軍一等軍醫官吉尾博士先生が數年間苦心研究の結果藥を附けた處が人に知れずに害なく不思議にヨクキク藥を創見致しました是迄種々の賣藥で治療しても少キもなくお困りの方も遠はず一日も早く申込め自宅療法の書物を三錢切手封入申込みの人に限り無代進呈す
東京府下淀橋町柏木百二十番地 東京博愛藥院

酒煙草きらひになる藥
禁酒丸 禁煙液 どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の禁酒論進呈
本舗 大阪市朝陽通二 森田商店

急告
◉梅毒專門藥唯一丸
梅毒、横根、淋病よりまちまち起る病毒を治すると共に安全に體内より全滅すべき良藥にて其の藥効を現今多くの梅毒藥は胃腸を害し其他の副作用を起さず此特效を有する唯一丸なり 百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ
◉五十錢(一週間分)一圓(十日分)三圓(一ヶ月分) 全國有名藥店にて販賣せり
梅毒養生法 無代進呈 送料四錢
發賣元 東京市牛込區神樂坂上 中西藥局 振替東京千九百番

スグキク 廿錢 十錢
井上博士ノ ロート目藥

國產アンパイヤ號自轉車と
純英國製ショーキタイヤは
輸界之代表的產物
[ショーキタイヤ] 正價 壹組中外共拾九圓五拾錢
直輸出入商 發賣元 鈴鹿商店自轉車部 京都市
朝鮮總代理店 瀧川銃砲自轉車店 京城明治町 電話三〇二番

美の素
秀でたる技術上の經驗に依て年々改良に改良を加へたる
クラブ洗粉 は
皮膚を美化する美身料として
醫學者間にも著しき其の効果を認めらるゝに至れり

貧血

貧血すると皮膚は蒼褪め色澤も失せ、頭痛や耳鳴がして手足は冷え、呼吸が促り心悸が亢ぶり、安らかに眠られず、食慾は減り、胃部は重苦しく痛んで、便秘し易く、月經は不順となり其の分量も減るやうになる。

○ミツワ人參錠

貧血の人は朝早く起きて夜更しをせず、純潔な空氣中に於て十分に眠り、適度の運動を行ひ新鮮な空氣を吸つて、精神的作業を餘り多く爲さず、仕事の間に時々休憩して精神を快活になし、一週に三回以上溫浴し、優良なミツワ石鹸を使ひ、身體を淸め血行を促し、食物としては醉漬のものや濃き茶珈琲等を避けて、割合に多くの鐵分を含む食物を攝り、常に複方肝油ドロップスを食べ、ミツワ人參錠を持藥とするに限る。

製劑責任者 藥學士 [illegible]
百錠入 五十錢 五百錠入 二圓

ミツワ人參錠適應諸症候

神經衰弱	頭重。頭內朦朧。耳鳴。眩暈。不眠。記憶力減退。陰痿。
ヒステリー	頭痛。呼吸困難。心悸亢進。精神鬱憂。胃痛。知覺異常。
ヒポコンデリー	意志薄弱。疑惧不安。疾病重視。消化不良。便秘。噯氣。
腦貧血	頭痛。耳鳴。眩暈。眼火閃發。卒倒。嗜眠。思考力減退。
腦充血	頭重。頭痛。顳顬搏動。耳鳴。眩暈。顏面潮紅。不眠。
腎臟炎	尿涸渇。尿鹺色。蛋白尿。浮腫。口渇。視力減退。頭痛。
貧血	頭痛。耳鳴。心悸亢進。皮膚蒼白。睡眠不安。月經不順。
老衰	動脈硬化。皮膚彈力缺乏。筋肉萎縮。視力薄弱。耳重聽。
營養不良	皮膚蒼白。筋骨薄弱。身體瘦削。精神衰弱。呼吸困難。
精力減退	精神困憊。筋骨疲勞。元氣缺乏。執務倦怠。起坐困難。

(ミツワ石鹸本舗 東京日本橋區 丸見屋 [illegible])

京城日報

年中無休刊 (第二千九百六號)

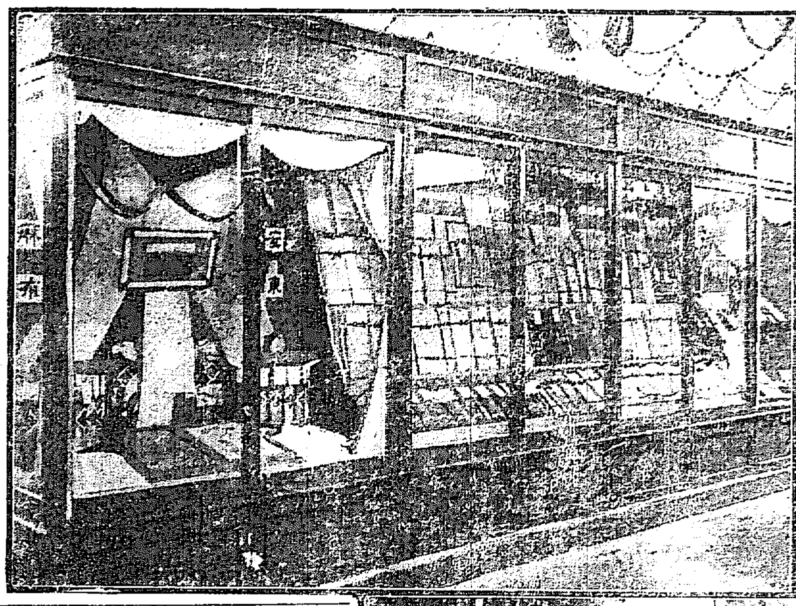
朝鮮開發の五年

五 財政と金融 (十一)

金融機關の發達 朝鮮銀行 (三)

▲調査室の努力 朝鮮に於ける中央金融機關として金融の調節の任務を盡さんとせば、常に内外諸般の狀況を調査し其趨勢を注視するの必要あるは論を俟たず、加ふるに我國は未だ殖民地の經營に對し經驗極めて乏しきが故に、廣く列國の殖民地經營の狀勢を參酌し[illegible]統治の完きを期すべきは頗る緊要の事に屬す[illegible]朝鮮銀行[illegible]調査室を設け[illegible]資料を蒐集し[illegible]、印度支那に於けるポール・ドーメル氏の經濟的施設、[illegible]歐洲諸國の海外銀行の概要、露國の銀行制度、露西亜帝國銀行の經濟的政策、極東に對する露國經濟政策研究資料、支那に於ける鐵道と列強、支那に於ける外國銀行等其主なるものにして、尤も近く支那に於ける列國の鐵道、鑛山其他の利權を明かにせる正確なる地圖を調製せしが如き調査局の努力は甚だ見るべきものあり。滿鐵の經營せる東亞經濟調査局等とは素より同日の比に非ざるも、銀行として斯くの如く有益なる調査機關を有するものは未だ多からず。

▲營業の成績 朝鮮銀行の營業狀況は創立の當初より次第に順調の發達を來し年と共に好績を示し明治四十三年上半季[illegible]純利益を擧ぐるに至り、各季の利益金の增加率は總拂込金の增加率に比し遙かに大にして、從て純益金の增加は驚くべき速度を示し、明治四十三年以降五箇年にして十五倍七分五厘の增加を見たり、尤も各季の拂込資本は固より相同じからず、四十三年に在りては未だ四分一の拂込に過ぎざりしが、大正三年に在りては既に全額の拂込を終了したりしを以て、其間拂込金の增加は當然なるも、利益金の增加は之を大に凌駕し[illegible]朝鮮銀行の發達の步を進むるに[illegible]創業日尚ほ淺く[illegible]中央銀行としては[illegible]大なるべき[illegible]配當は大正二年下半季[illegible]良好なる成績[illegible]七分[illegible]配當を行ふに至れり。[illegible]

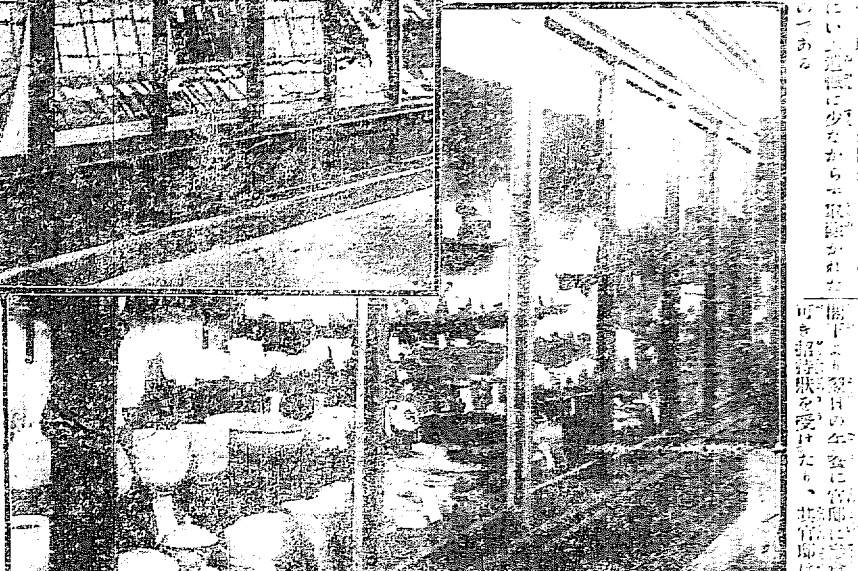


扶餘に遊びて (一)

山縣生

百濟の舊都扶餘の名は近來小說的紀行文の精巧なるを以て、江湖に紹介されしに因り、其山水の美しく高くなつた、これが為めに同地に遊ぶ人の數も次第に增加しつゝあるやうである、然しながら此地の深き歷史的因縁と此地の美なる風景の有する多數の觀光客は少ない、[illegible]比較的困難なる旅行を想像して此地に遊ぶ者は少ない、[illegible]五年以前に山るならん、余自身も數日の時を費して此地を訪ひたる經驗に由り再遊を躊躇して居たのであるが、然るに余は開三日前[illegible]私事ながら家兄[illegible]機會を得た、[illegible]極めて安樂なる且つ愉快なる旅行を遂ることが出來た、世の人々がこれ程の短時日に愉快なる旅行を試みることが出來るを知るならば、扶餘を訪うて其類稀なる美なる風光を賞する人が多くなからうと思ふ、余が此文を京日紙に寄草するの主旨こゝに在り

私の思ふに京城の附近に遊覽に値ひする勝地の乏しきは[illegible]京城人士の憾みとする所である、然るに扶餘は僅に二日を費すのみにて充分に山水を賞美し、其我國に因縁深[illegible]



模範的殖民地

クラー氏の朝鮮觀

京城に於ける日本人は主として商業上の活動を代表し、外國人は領事館員を含み歐米人、支那人總數二千五百人あり、而して鮮人として商業に從事するもの尠からず、技術に從事するものも亦多く、確實なる技能を有するものなきにしも[illegible]稍ならずと聞けり、既に新政の下に朝鮮人は久しく失墜せし技藝を漸次回復しつゝあり、或る旅館に於て優秀なる美男子にして平鮮北部より來京せる朝鮮人鑛山技師[illegible]

[illegible]日本公使の官邸なりしといふ、總督閣下より差向けられたる馬車にて市街を通り官邸に赴きたるは吾人の深く光榮とする所なり、總督官邸は純然たる西洋建築にして、内部は稍宏く能く日本の良邸宅に於て見受くる地味なる趣向にて室内を飾り、裝飾品は支那の優秀なる彫刻品のみならず貴重なる支那、朝鮮の陶器の排列せられたるを見たり、吾人は玄關にて總督府官吏の一人たる菱田靜治氏に面會し同氏に導かれてカーキ色の軍服姿なる朝鮮總督寺内伯爵閣下に接見せり、閣下は猶は壯年に見ゆる程、其他壯快なる將校と並び吾人を最も慇懃に引見せられたり、而して應接間に於て我が合衆國總領事レンラフオード、ミラー氏に面會せり、予は總督閣下の側に座し、菱田氏の流暢なる通譯を經て英語を以て形式的談話を為したり (未完)

先日共進會を機として東京より[illegible]來鮮し既に慶州、[illegible]の諸都邑を巡遊したので、これより朝鮮內地[illegible]見して歸東の途に就かんとするの[illegible]であつた、そこで余は之を[illegible]五年前扶餘の[illegible]余の小農場を訪ふて其近況を見る事を思ひ立ち、[illegible]三日の暇を偸みて出掛けたのである

五年前の旅行には往くにも復るにも二日數かつた、然るに今回は僅に二日で往復することを得た、前には少なからぬ困難を嘗めたが、今回は[illegible]

(上) 工業部織物陳列棚 (下) 同 窯業品陳列棚 (共進會第一號館)

總督に招待さる

[illegible]なる者を見たり、彼は外人[illegible]山にて多大の信用を博し[illegible]を受くといふ、鮮人中には[illegible]名望あるものあり、一夕[illegible]大にして歐米に於ける[illegible]如く見ゆる米國官吏の[illegible]の招待を受けたる[illegible]婦人の[illegible]をことに[illegible]

一夕[illegible]に[illegible]閣下より翌日の午餐に官邸に招待す可き招待狀を受けたり、其官邸は舊[illegible]

停雲會詩集

雨歲中秋 押秋 雲煙大道[illegible]

捲簾、滄酒倚江樓。底事痴雲重壓浮、雨歲嫦娥空失影、牢騷虛度十中秋。

之亭曰、一例愁惡、[illegible]

同 二首 捶松

[illegible]清氣、[illegible]提古人遊。並坐[illegible]嫦娥、大色野。四[illegible]

之亭曰、第四劇描寫。

同 二首 捶松

思君不見倚南樓、晴雨蕭蕭望裡秋。[illegible]

之亭曰、[illegible]

同 [illegible]

雲煙大道[illegible]

[illegible]

同 二首 [illegible]

[illegible]

和韵 芙蓉

[illegible]

同 二首 捶松

秋、香雲盡月臨軒。春雲雨深花滿園。爻[illegible]

日報歌壇

纓[illegible] 陸人

□尾を振りて食を求むる犬の如兎や角君に美き言をいふ

誇りにし我等の戀も夜光る珠には遂に如かざりにしかな

君在れば灯の光さへ美しきしみじみ語る夜はも一しほ

我胸に宿れる人の面影によく似たるよと見しまでなれど

事足れりわが悲しみを自らの悲と言ふ事と思ふ事との異れるうき身

する君を得たれば

□となりて君と向へる

大夏の日の光よりなほ強く君の瞳はわが胸を射る

雨の足いと怪しき戀を求めて走るわかき心を

金山 よ き 子

□若き日の思ひ出草になさばやとなほ草植うる乙女なりけり

美 智 香

□心なき長き袂の麻の花にそろとふれば物のこぼれぬる

閑餘隨錄 (二)

讀書 (承前)

[illegible]

朝鮮彙報

大正四年十月一日發行

朝鮮彙報は朝鮮總督府に於て編纂發行せらるゝ月刊雜誌にして精確豐富なる材料に依り朝鮮百般の施設成績及狀況を記述し以て朝鮮研究者の資料に供す、本號に於ては特に始政五年記念共進會の記事を豐富にし之を色刷とし且口繪の數を增し以て一層其の精彩を加へたり

主 要 目 次

◎口繪──第一號館、審勢館、第二號館、土木及交通部、參考館、新築の京城郵便局
◎共進會記事□共進會の開場□共進會巡覽記□共進會出品概觀□各種大會日程
◎朝鮮五葉松の直幹及末梢に就て二叉乃至四叉する理由……總督府植物調査囑託理學博士 中井猛之進
◎米國華府に於ける國立印刷局の概況……總督府技師 勝山重巽
◎青島の殖林事業……營林廠長 齋藤音作

■忠淸南道鎭行者事績概要 ■大正三年地方經濟狀況
■醫學講習所教育事務狀況 ■內鮮間帆船貿易狀況
■京畿道內國費造林事業概況 ■朝鮮に於ける竹林
■大正四年夏蠶狀況 ■露國の戰時救濟事業
■公普通學校の卒業生指導 ■堤堰狀修築狀況
■簡易農業學校卒業生指導の實例 ■支那鐵道狀況
■朝鮮不動產の權利の得喪に關する制度
■朝鮮語動詞に關する重要なる疑問 ■寒天製造適地
■香港に於ける朝鮮產玉珧の市況 ■江原道漁業狀況
■朝鮮商業會議所令及朝鮮重要物產同業組合の要旨
■李王職牧馬事業の概要 ■警務部長會議
■國語及朝鮮語研究 ■鐵道運輸

●投稿を歡迎す 原稿締切期限每月十日
研究資料 官の調査と個人の研究とを問はず朝鮮研究に關する記事は努めて掲載す
地方通信 各地方の經濟事情、人情風俗、古蹟の紹介其の他一般狀況の通信を掲載す
質疑應答 法令、經濟、統計等に關する質疑に應ず何人も本欄を利用し得べし
投稿は必ず記名とす但し希望に依り紙面を匿名となすことあるべし
◎本誌は每月一回一日發行紙數二百五十餘頁 定價二十五錢 郵稅二錢 五厘とす
◎本誌は東京神田巖松堂書店、京城其他朝鮮各地書店にて販賣す

山縣政務總監閣下題字
立花警務總長閣下序文
今村鞆氏著
再版出來
高評 朝鮮風俗集
朝鮮人の國民性は如何‖宗教心は如何‖心理狀態如何‖倫理道德如何‖社會生活如何‖此等の諸問題を風俗習慣の側面より解說せしものにて實に朝鮮人情風俗史とも云ふべく朝鮮人心情の解剖史一の參考書たり朝鮮を知らんとする人朝鮮の風俗に通ぜざれば以て朝鮮に望むべからず朝鮮を知らんとする人本書を措きて亦何にか求めん朝鮮を語
菊版總布上製 天金函入頗美 定價金壹圓八拾錢 送料十八錢 內地四十錢
發兌 京城永樂町二 振替二二八 ■■道館
賣捌 京城 大阪屋號書店
本町 日韓書房

宮原網村先生著
丸野竹南先生畫
新版 なお鮮より
著者在朝既に七年。常に朝鮮の山川風物を歌ひて中央の文壇に新趣味を紹介せらる。今や會心の作數編を集め、禿けたる山。涸れたる川。あめうりの鋏の音も。チヨンガーの花賣る聲も。城壁も廢屋も。何れか美化して心地よき歌となり居らざる。加ふるに。清楚輕快なる文章と、瀟洒奇拔なる繪畫とは、兩々相俟ち、朝鮮の氣分を發揮して餘りあるもの。これを燈下に繙かば、居ながらにして半島を旅行し。これを母國に贈らば、朝鮮を紹介する最好の紀念品たらん
寸珍洋裝頗美
定價五拾五錢
送料四錢

希臘後繼內閣

雅典來電に依ればザイミス氏は希臘後繼內閣組織の任に當ることを承認したるが新內閣には反對黨領袖も入閣すべし(倫敦電報)

奉省國民代表者

奉天省民は國體意見上申の爲各縣より代表者一人を派遣し十二日奉天にて帝政採用請願の決議をなすに決し代表者は續々來著しつゝあり此の代表者は多分北京に開かるべき國民代表者大會代表者に選定せらるべし(奉天特電)

張將軍愈來京

段上將軍代理張作霖、巡按使代理馬廷亮氏の一行は十五日奉天出發共進會參觀の爲入京すべし(奉天特電)

八日の定例閣議

八日は閣議定例日に就き大隈首相以下各大臣午前十時より首相官邸に參集し會議を開き大隈兼攝外相の外交報告あり次で明年度の特別會計に關する要件、大禮關係事項等を協議し正午休憩、午後大隈首相の九日より十三日迄關西旅行中に於ける事務打合せを爲し散會せり(東京特電)

米價調節將來
鮮米には影響無し

政府は愈々永久的米價調節を爲す準備として米價調節調査會なるものを組織する事となりたるが農商務省より同委員會に提出する參考案の內容は不明なるも聞く處に依れば尠くとも朝鮮米の取引所代用制度の撤廢及び朝鮮米を輸入制に復活する事等は問題とせざる由なれば假令米價調節が實現せらるゝ場合と雖も朝鮮米に對しては何等の影響なしと云ふ(東京特電)

條約改正功勞 叙勳

日西條約改正に關し功勞ありたるものに對し八日左の如く叙勳ありたり(東京特電)

待命特命全權公使　荒川己次
授旭日重光章
公使館二等書記官　三浦荒次郎
授旭日小綬章
大使館二等書記官　鮭延信道
授單光旭日章
外務省書記生　多羅間鐵輔
叙勳八等授瑞寶章

野口博士叙勳

過般歸朝したる醫學博士野口英世氏の醫學上の功勞を思し召され八日左の通り叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

醫學博士　野口英世
叙勳四等授旭日小綬章

海野勝珉氏逝去

帝室技藝員海野勝珉氏は七日午前一時心臟痲痺にて逝去せり享年七十三病氣危篤の趣天聽に達するや左の如く特旨叙位の御沙汰ありたり(東京特電)

正五位勳五等　海野勝珉
叙從四位

商況

大阪株式特電

東株	六八、三〇	[illegible]
大阪商船	八一、四〇	[illegible]
日本郵船	二〇、四〇	[illegible]
大阪米穀	二八、七〇	[illegible]

期米 [illegible]
開 十二月限 二一九、二〇 二一〇、五〇 二一〇、八〇
節 [illegible] 二一九、四〇 二一〇、九〇 二一〇、八〇

大阪期米特電(八日)
前場 [illegible]
甲五分 一圓四分 九〇、八〇 九六、一〇 二圓四分 七九、四〇
三川米豆取引所

東京米商災害

大風の爲め七日夕刻より暴風雨あり深川、大川端筋一帶三尺餘增水し九ワ、九ニ、九ク等の倉庫に浸水し下積約二萬俵大概浸水せり浸水米中には政府の委托保管米約五六千俵ある由なり(東京特電)

農相一行著壤

河野農相一行は八日午後三時著壤直に寺洞に鑛業所を視察し歸來官民合同の歡迎會に臨み一泊す(平壤特電)

東京發別電

獨逸外交の成功か

巴爾幹に對する獨逸の外交は巧妙を極め希國內閣は遂に辭職して同國は中立を守らんとし巴爾幹の形勢は聯合國側に不利となれり

露勃國交斷絕

勃牙利は露國の最後通牒に對し竟に拒絕の旨を回答したるを以て駐勃露國公使は勃牙利政府に對し露勃國交斷絕の旨を聲明せり露國公使は近く同國を引揚ぐ可し

對支金融機關

日支滿蒙兩銀行とも民間各銀行の反對あるに拘らず政府は斷然設立する方針なり

酒稅收入と藏券發行

酒稅收入は來る十一月に入らざれば之を運用する能はざるを以て政府は今十月末を以て一千萬圓の大藏證券を發行すべし

海軍大演習

來る十八日より土佐沖に於て海軍大演習を行ふに付其幹部員の任命ありたり

暴風雨と被害

七日夜來暴風雨あり關西地方の被害激甚なり

扶桑艦の處女航海

吳工場に於て分解試驗中の軍艦扶桑は卓越の成績を示したるを以て來る十一月を期し處女航海を試むべし

雜報

政務總監歸任

日本赤十字社朝鮮本部總長の資格を以て平壤赤愛支部總會に列席したる山縣政務總監は八日午後一時半平壤驛發列車にて同日夜南大門驛著歸任したり

鮮內水害精查
死者八百七十名

本年七、八、九の三箇月に於ける鮮內水害中人命及び家屋の被害は此程精查を遂げ其逐一を宮內省に報告したり其被害狀況を道別せば左の如し

▲京畿道 人命● 死者三十七人傷者十二人、行衛不明三人▲家屋● 流失四十四戶、全潰百六十四戶、半潰三百五十二戶、床上浸水六百八十八戶

▲平安南道 人命● 死者百五十六名、傷者四十三名、行衛不明十五人▲家屋● 流失四百六十八戶、全潰四百十戶、半潰四百二十四戶、床上浸水千二百六十四戶

▲平安北道 人命● 死者四百二十四人、傷者六十七人、行衛不明七名▲家屋● 流失二百三戶、全潰百五十二戶、半潰三百五十九戶、床上浸水五百一戶

▲江原道 人命● 死者三十六人傷者六人行衛不明二人▲家屋● 流失三十五戶、全潰二十五戶、半潰四十六戶、床上浸水二百二十三戶

▲慶尚北道 人命● 死者百十四人、傷者十六人、行衛不明二名▲家屋● 流失三百九十七戶、全潰三百二戶、半潰三百五十八戶、床上浸水三千六百十一戶

▲慶尚南道 人命● 死者四十一人、傷者十四人、行衛不明七人▲家屋● 流失百五十三戶、全潰三百三十戶、半潰三百十三戶、床上浸水一千七百九十六

▲咸鏡北道 人命● 死者六十一名傷者十三名、行衛不明十六人▲家屋● 流失八百九戶、全潰二百八十二戶、半潰八百二十戶、床上浸水一千四百九十九戶

▲被害統計 人命● 死者八百六十九名、傷者百七十一人、行衛不明五十二名▲家屋● 流失二千百九戶、全潰一千六百六十五戶、半潰二千五百七十二戶、床上浸水一萬五千七百四十二戶なり

九月貿易

總額●九百九十萬餘圓
累計●七千三百七十萬圓

▲貿易額 九月中の輸移出品價は三百十一萬五千餘圓輸入品價は六百八十二萬八千餘圓合計九百九十四萬三千餘圓にして之れを前年同月に比すれば輸移出は二十八萬八千餘圓輸移入は百三萬七千餘圓を增加したるを以て總額に於ては百三十二萬五千餘圓の增加を示せり

▲累計額 次に本年一月以降本月迄の貿易額は輸移出三千百八十萬五千餘圓輸移入四千百九十三萬千餘圓合計七千三百七十三萬六千餘圓にして之れを前年同期に比較すれば輸移出は八百四十萬三千餘圓即ち三割を增加し輸移入は六百四十九萬餘圓即ち一割三分を減退したるを以て合計に於ては百九十一萬三千餘圓即ち二割六分の增進を示したるものとす此の如く輸移出著しく好況を告げたる爲め貿易の權衡は前年二千五百二萬餘圓の入超なりしも本年は千十二萬五千餘圓にして前年の半に達せざるの順潮を呈せり

▲輸移出 本月の輸移出主要品を前年同月に比するに米は數量に於て增加したるも相場低落の爲め輸出價格は二萬四千餘圓の減退を示し、大豆亦た一萬餘圓の減少を來したるも鐵鑛、石炭等は孰れも好況を告げ殊に露國向軍需品二十四萬三千餘圓の出荷を見たるは輸出增進の主要原因なり

▲輸移入 當月の輸移入を前年同月に比し百三萬七千餘圓を增加したるは米及び粟に於て十七萬九千餘圓を減じ晒金巾、綿子及び石炭等に於て各數萬圓を減退したるも食鹽に六萬六千餘圓石油に三十四萬三千餘圓を增加し其他生金巾絹織物及び機械に各數萬圓の增加を呈したるを以て結局如上の增進を來せるものとす

▲主要品 今輸移出主要品を列記し當月中の價格並に一月以降累計を示せば左の如し

輸移出重要品(單價圓)

品名	九月	一月以降累計
米	一、三六九、八六五	一六、三七六、三〇三
豆類	三一二、八四三	二、六九四、二五四
鮮魚	一四、七六五	一〇五、一六四
乾鰮魚	六〇、七八六	四三三、八八三
人參	二三	一二一、〇二三
棉花	……	二一八、六〇四
繭	二七、三三三	六八九、六九〇
金鑛	五六、五七〇	七四八、九三七
鐵鑛	六五、九二九	三五八、七八九
石炭	七五、二九一	四一五、五〇八
牛皮	三二八、三三〇	一、八七五、六七五
煙草	一三、九〇三	一九七、九九六
生牛	四九、三七七	二三六、五六三
木材及板	一五、二四三	一三三、九五〇
其他諸品	七二四、三九一	六、一九八、八四三
合計	三、一一五、一三八	三一、八〇五、一八三

輸移入重要品(單價圓)

品名	九月	一月以降累計
米	七、二七六	二八五、〇六三
粟	一七、二八四	七六一、五三八
小麥粉	六六、九九四	五〇八、六三四
食鹽	八四、四二三	五八二、七一六
砂糖	一二八、八三六	一、一二八、二七八
石油	三四六、三三一	一、三三七、一〇一
綿絲	一二九、五六一	三一三、六八二
打綿	三四九、八五三	一、七二九、三二四
生金巾類	一二四、九八三	三、八五七、六五四
晒金巾類	一九八、九一一	一、二六九、三八八
天竺布	六七、三四七	三二七、三三八
綿繻子類	三六、二五八	一七〇、五六八
日本木綿	三二五、五六〇	一、三三六、一五七
支那麻布	五、七四二	一、一四四、二四六
毛織物	九八、一六一	四五六、三七四
綿織物	二三〇、三一二	六五三、六一六
交織物	三一、五七八	一二〇、八〇九
紙	一三五、六九三	一、〇九七、六五八
熱鐵	八三、四三五	五七〇、〇一八
鐵管及び管	二四一、五五二	一八五、八六五
鐵條及釘	九五、二六三	六二五、九二七
鐵鍋及釜	一八、二〇一	八二、六七〇
鐵道用品機關車	二七、六九六	四九、三二〇
諸機械	一三三、三五八	九七〇、四三五
煙草	一五、六〇二	三三九、五〇六
石炭	一三四、九五〇	一、三三九、五一五
木材及板	一一五、一三七	一、一二九、〇八一
セメント及び石灰	六〇、六〇九	五〇七、九八三
叺及莚	一一六、四四一	六五八、七〇六
燐寸	五九、〇九〇	三九〇、三二〇
爆發物	二七、二四九	二二四、三四四
小包郵便物	四〇三、六七六	二、八七九、六三八
其他諸品	二三七、九〇一	一四、九九二、九四九
合計	六、八二八、二五三	四一、九三一、一二一

通俗講演會 演題

既報の如く東洋協會朝鮮支部にては九日午後一時より京城ホテルに於て通俗學術講演會を開會し小松原會長英太郎氏法學博士山田三郎氏貴族院議員德富猪一郎氏講演の事に決したるが演題は左の如し

開會の辭　小松原英太郎
同化政策の第一義　山田三郎
桂公と帝國主義　德富猪一郎

機動演習日程

駐劄軍機動演習は來る十月十三日より各個の行動を執り攻防演習及び幹部演習を施行する筈なるが其日程左の如し

步兵第三十五聯隊攻防演習▲十月十三日より同十六日迄▲地點平康▲第九師團幹部演習▲十月二十日より同二十九日迄▲地點江原道黃州

因に攻防演習の諸武官は步兵第六十九聯隊長久世大佐、幹部演習統裁官は第九師團長川村中將なり

仁川九月重要貿易

九月中仁川港重要輸移出品は米二十五萬三千七百三圓大麥小麥一千三百三十二圓豆類五萬二千六百三十六圓金鑛一萬四千三百六十六圓牛皮五千九百六十五圓煙草二千九百十四圓肥料七千四十六圓にて其他諸品合計三十八萬三百十二圓なり尚ほ重要輸移入品は小麥粉一萬九千五百八十八圓食鹽三萬六十六圓罐詰及び罐詰食物三千四百六十五圓砂糖糖蜜一萬七百六十二圓淸酒一萬一千百十二圓石油三十二萬八千八百三十八圓綿絲及び打綿二萬八千八百三十圓生布生シーチング十九萬二千圓金巾及び晒シーチング十一萬一千圓絹織物十二萬一千圓紙三萬一千圓軌條及び枕附屬品八萬六千圓石炭三萬二千圓木材及び板三萬三千圓マッチ二萬三千圓小包郵便物五萬七千圓にて其他諸品合計百六十八萬五千六百八十圓なり前月は輸移出三十三萬七千百八十一圓にて輸移入八十一萬四百十五圓なり本年九月迄の累計輸移出五百三十一萬四千六百一圓輸移入七百九十萬二百三十六圓にて前年九月輸移出は三十六萬八千九百十三圓輸移入は百十七萬九千百二圓なり昨年度に於ける九月迄の累計は輸移出三百六十六萬二千七百八十一圓輸移入は一千百五十五萬二千圓なり

川村師團長出發

江原道平康附近にて擧行の野砲兵射擊演習視察の爲め八日朝平康に向ふ豫定なりし川村師團長は九日朝出發す

浦京直通線開始期

浦汐京城間に於ける日露連絡直通電線は最初十月初旬を以て通信を開始する豫定にて工事を急ぎつゝありし處過般咸鏡北道一帶に於ける暴風雨の被害夥しきものあり自然工程を逆轉したる爲め早くも來月に至らざれば事務を開始するに至らざるべしと

加士島燈臺設置

遞信局にては木浦を去る南方二十五浬沖に當る加士島に今回新に燈臺を建設する由にて燈臺巡視船光濟丸は之が材料を積載して三四日中著島の筈なれば近く點燈を見ることゝなるべし同島は木浦に入港の分岐點に當り從來幾多の不便を感じつゝありその設置の曉には木浦港出入の船舶は勿論一般航路上に受くる便利は蓋し大なるべしと

理想的な縱貫鐵道
比類なき三百哩百分一の句配
陸軍中將　山根武亮男談

餘り度々朝鮮に來るので何だか薩張り旅心地がしない其れでも私が初めて來た明治三十年の昔に較べると全く變つた大差がある日露戰役の始められた明治三十七年二月、宣戰の布告があると殆んど同時に鐵道監として渡鮮し直に京城新義州間の鐵道敷設に取掛つたが其當時は絕對的に隧道を掘鑿しない

▲飽迄も急速竣成 を目的として山と云ふ山は低いのは勿論乘り超えるけれど隧道の必要のある處は皆迂廻々々した言ふ迄もなく其時のはボロ鐵道だつた然し急速と云ふ上から言へば此上なしの速成で其竣工が日露戰役上どの位貢獻したか敢て自ら言つても恥ぢない位である其後大改良を加へて今日の立派な鐵道となつた今日朝鮮の鐵道中京義線は未だ完成して居るものは無い京釜線は未だに改良工事中だし湖南、京元兩支線は幹線に比して論ずる迄もない兎に角三百哩百分一の勾配で坦々たる大道を敷き詰めた處は日本中には無い日本には三十分一と云ふ險しい線路さへある

▲其れが朝鮮では 京元線の六十分一が最も急勾配で然も之は支線なのだから幹線では京釜線の八十分一を一番急とする位だ全く朝鮮の鐵道は理想的だと言はねばならない私は臺灣にも樺山總督に從つて行つて丁度朝鮮でやつたと同じ樣な事をやつた臺灣にも可成りに急勾配があつて最初は輕便鐵道許りだつたのだが未だに幹線中に四十分乃至六十分と云ふ急勾配が殘されて居る日本にしても臺灣にしても島國に是れは仕方の無い事だ其れが朝鮮には比較的よく出來てると云ふ事は非常な成績と言はねばならない殊に朝鮮の鐵道が大縱貫線を中心として

▲東西の橫斷線が 出來其上に湖南線の如きが竣成されてる事は日本鐵道などに比して其れ丈け經濟的にも有利か知れない日本の鐵道が或は東海道線或は北陸線と兩側のみを走つてる事は產業開發物資運搬上どれ丈け不便か知れない其れを朝鮮の鐵道が縱貫橫斷の線路を持つてる事は非常に有利な事だ今日總督施政五年記念の大共進會が說明してる朝鮮開發の顯著な成績に鐵道が與つて如何に偉大な力を捧げてゐるか今更言ふ迄もない事だ

元松間二重通信

元山松江間の海底電信線は從來現波單信なりしを以て少しく通信輻輳する時は忽ち遲延して豫備線としての効力を缺ぐことあるを以て今回之を二重に變更することゝなり目下機械工事に著手中なるを以て近く完成の上は關釜海底線佐世保大連間海底線等不通の場合の如きは內地朝鮮滿洲間の通信力は從來に比し倍加するに至るべし

大東法律學校卒業式

趙重應子爵校長たる私立大東法律學校第四回卒業式は九日午後三時北部嘉會洞翠雲亭にて擧行すと

九月中發著著名品

仁川驛九月中著名品發送の部は米二百二十五噸太豆七十三噸穀粉百六十五噸鹽干魚百九噸海草五十八噸鹽一千三百四噸醬油百六噸食料品百三十五噸酒類百六十四噸煙草二百十三噸藥品及び藥品材料七十一噸金巾二百三十五噸紙類三百三十六噸燐寸百五噸石油五百四十四噸金屬器類百五十六噸纖維二百三噸石炭百九十一噸木材二百七十七噸石材二百九十三噸セメント九十二噸金屬類二百五十三噸洗曹達四十九噸硝子器五十七噸にして其他諸品及び局用品合計七千八百六十一噸なり尚ほ著名到著品は米一千四百十七噸大豆四百二十一噸麥百四噸雜穀百十二噸明太魚十四噸海草二十一噸煙草七十二噸陶磁器十八噸肥料十八噸石炭四十七噸木材百四十六噸煉瓦百二十噸金屬類六十三噸にて其他合計二千九百十一噸なり前月の發送貨物噸數は六千八百三十噸にて一千三十一噸の增加を來せるが到著貨物は二千六百九十八噸にて之又二百十三噸の增加を見るに至れり

檢米施行期

去る四日京畿道令第十四號を以て發布せられたる京畿道檢米規程施行期日は十月十日を取消し十一月十日に正誤されたり

淸野前滿鐵理事

前滿鐵理事淸野京太郎氏は七日夜南大門驛著入京旭町一丁目村田東拓理事邸に投宿九日夜南大門驛發汽車にて退京す可し

人事消息

▲大島次官一行　八日夕出發歸東
▲中井俊藏氏(鐵道院參事)　八日夕入京天眞樓投宿
▲山內正瞭氏(長崎高商校長)　同上
▲岡田省胤氏(三井物產大連支店員)　同上
▲松崎壽三氏(農商務省水產課長)　九日朝元山へ向け出發
▲迫間房太郎氏(釜山實業家)　八日夕出發釜山へ

後場の商戰

[illegible]

京日案內

●普通 一回前金三十錢(但制限外一割增)

●給仕雇入 十五六歲の內地人採用す希望者自筆履歷書携帶至急來談あれ 京城太平町 朝鮮公論社 706

●雇入 廿五歲以上の裁縫に熟練の女一名雇入たし本人大至急來談あれ ▲新町電話一三六一 君の江 707

●取引先の各位に告ぐ 金融業務は自今漢江通り一丁目十一番地(元斯會社横)に於て取扱候 ▲伊藤 702

●小僧入用 十四五歲の者四五名至急入用身元確實市內に保證人要す希望者來談 本町二丁目 丸一吳服店 700

●求雇 代診御照會あれ履歷書保證を附す 明治町山城屋電話二八五六△森田生 699

●店員入用 年齡十七八歲より廿歲迄採用至急來談ありたし 龍山鐵道構內電車終點 龜屋商店 698

○好讓渡 ○理髮店 諸道具一切二階四室附家賃十八圓 元町京城日報通大和クラブ向床屋 688

●女中口入 官舍、商家、旅館 京城明治町 萬年社 電話一八四四 620

●周旋業 ●藝娼妓 ●酌婦 ●仲居 ●女中 取扱確實親切迅速 京城黃金町三丁目 萬成舍 電話二七三五番 658

●貸家 日本建溫突付三室至極閑靜 官吏向漢陽公園南裏 管理者 齋藤龍山印刷局先畑中 677

●番外 一回前金[illegible]

蠶種 生產販賣並に各國優良蠶種照會 滋賀縣長濱大手通電話三百番 詳細御報次第應答 ▲振替大阪二九二七五 中國商會 704

恩給年金類立替 京城若草町一丁目一〇六井出邸內 電話二二六三番 西村商會 712

乳母入用 望みの方は是非本人御來談ありたし 京城本町二丁目 電話二二四九番 金銀屋 705

移轉 酒 醬油 味噌 糀 森永釀造所 明治町二丁目空地 電話二六八六番 697

古着古道具類 右は相當價格を以て誠實に買受候 旭町一ノ廿一 電話一八一二 クヅ谷商店 680

恩給年金類立替 京城永樂町一丁目四十四番地 商品陳列館前 電話八〇三番 江州屋 709

書畫骨董桐箱製造 京城日の出町五番 電話二〇五 東京 藤井出張 694

前途 最も有望なる製造業至急讓度し要資三百六拾圓 主人歸國の爲利益月百廿圓以上 南大門(西北)一丁目(今本醫院隣)福富理髮所方 690

寫眞 山崎寫眞館 夜間も撮影します 龍山軍司令部前 電話六壹六番 682

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 708

皮膚病 花柳病 專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 566

●マッサージ鍼治灸點特得治療 胃の痛、腹痛、赤痢、脚氣、小便以上の病は一二回にて治ります是余の特得たる處なり 府廳官舍前横入 電話一八七一 京城 醫堂 616

恩給年金類立替 京城御成町 電話二七七七番 山口屋 710

募集 本業は美術ゴム細工前途有望自宅で出來る好職業 自轉車タイヤ修繕機景品付大阪 詳細來店又は有劵十錢送れ 京城黃金町日之出商會 電話二六五二 645

生徒募集 (一)英數學教授教師は中學校入學受驗準備科 (二)等教員免許狀を所有す 若干名募集す至急申込あれ 京城典洞四十六番 私立京城義塾 684

▲りん病ばい毒 にて困る御方は御出でなさい詳細は本月三日の京城日報を御一覽あれ 京城南大門外 ドラッグ商會 686

通信教授 バイオリン尺八 講義錄發行何人も直に上達する新案特許の方法論證據詳細規則進呈 九州福岡中島三 大日本家庭音樂會 508

恩給年金類立替 京城本町三丁目四十番地 電話二二六一番 博多屋本店 711

鑛物分拆 各種 鉛銀鑛石買入 京城太平町二 三百四十四番 坂本分拆所 636

成從特產 種子苗木 農具商 平壤栗 種子用 食用 おろし 小賣 京城勸農園 電話七〇四 振替口座京城五六 639

物品購買入札公告
此入札保證金ハ各自入札高ノ百分ノ五以上ニ附ス供給請負希望ノ者ハ本府庶務係ニ就キ入札人心得書契約書等熟覽ノ上本月十一日午後二時限リ本府庶務係ニ入札スヘシ即時開札ス契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔任
大正四年十月四日　京城府

購買入札公告
一、丹礬　千六百貫
右詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ
大正四年十月九日　朝鮮總督府遞信局

入札拂下
一、製材　二十七口總材積約二千四百尺締
右樹種　落葉松(テウセンカラマツ)　杉松(テウセンハリモミ、ダウシラベ、ダウヒ)　紅松(テウセンマツ)
一、製材機械類八尺旋盤用シャフト外五十一種
以上會寧出張所構內所在
右詳細ハ十月九日以降ノ本府官報ヲ見ヨ
大正四年十月九日　朝鮮總督府營林廠

來る十日本會總會に參列の會員は必ず午前八時卅分迄御來會相成度候也
朝鮮醫學會

急告
小松原英太郎氏歡迎の爲め來る十一日午後六時より南山町花月に於て岡山縣人會開催致候に付多數御出席希望仕候
追て御出席は九日迄に總督府內務部澤田豐丈氏へ御申込の事又會費三圓當日御持參の事
十月六日
岡山縣人會幹事

大共進會

將に天工を奪んとす 中央試驗所工業傳習所の出品

朝鮮工業の將來を語るものとして何人も見脱すべからざるものは共進會一號館工業部中央試驗所及び工業傳習所の出品である、水產部の方から入ると入口の直ぐ左側柱も壁も床も

■暖爐も置物も 瀬戸物で耐火粘土で堅めた一區劃が先づ觀客の眼を惹く門を潜つて傳習所の大行燈に突當ると左に蠶絲の撚糸と海地の出品がある、壁紙、蓆紙、洋傘、衣紙等何れも改良品でその發達は直ちに支那の輸入を防遏する勢力を有するもの、つゞいて陶器、磁器類の陳列を見る、例の慶南河東產の陶土に他地方の朝鮮產原料を少し混じて製したものだといふが此原料の優秀なことは他に敵を見ぬといふ代物、その原料も出陳されてゐるので斯業家には好參考資料たるはいふまでも無い又

■硝子の製品も あるが之れは朝鮮產の海砂で作つた物だとか、大いに注目に値するものだ、歩を移すに當つて左側に室內の立派な模型を見る、二間に二間半の濡縁まで付いた瀟洒たるもので、朝鮮簞笥、文匣、卓子、椅子、長椅子、衣服簞笥、洋簞笥、飾棚、花臺、小卓子、衝立等西洋、內地、朝鮮の樣式が調和されてゐるのも面白く、その內衣服簞笥は朝鮮產のポプラを用ゐたもので却々立派に出來てゐる、之れで實用にも十分適すると云へばポプラの前途も大いに望みあるものと見える、又衝立は莞草を利用したもので竹の簾に比べて價も安いさうだ、その他朝鮮牛車や荷馬車、丁稚車、石扳器、石扳唐箕の

■改良品模型は 鮮人農具の改良を促すに足るのみか內地農業家にも一顧の價値が充分にある、之れ等は何れも工業傳習所木工科の出品であるが同じく金工科の製作品にも八種の農具や工具が同じ意味で觀客の頭に強い興味を喚ぶ、同じ金工科の出品で青銅や鑄鐵、アルミニユーム、錫合金製の日用品があるが、中にも錫合金の朝鮮食器は一種の新合金もので從來の眞鍮製食器と異ひ錆も出ず何時までも光澤を失はぬ特徴を持つてゐるさうだ、その他亞鉛引鐵板、銅板、鐵板

■眞鍮板銀鍍金 銀細工品等もある、就中暖爐の煉炭使用に適した完全燃燒の特種の構造を持つたもの、如き同所の何事にも新工風を怠らぬ跡が見えて嬉しい、應用化學科の製作品では動植物の油、骨灰、靴墨、蚜蟲を殺滅するに有效な除蟲劑外三十一種の鹽、糖、酸類、晒用、染色用等の藥品、及びその朝鮮產原料品標本五十種、石鹼製造の工程標本、同じく洗濯曹達、ポッタース、海藻、沃土採取、製紙等の工程標本その製品卅二種の豐富なる陳列品は

■朝鮮化學工業 の如何に今後發達の餘地あるかを表示して餘りあるものだ、陶器科の白磁、青磁、色釉藥、青磁高、花形青磁高等各種の製品は一見窯業が朝鮮工業界の覇者たるを思はしめるもの、別に石窟庵の佛像模型は見物注目の中心を爲してゐる、表に廻つて試驗所の應用化學、試驗部出品では閑院宮殿下御買上の光榮を得たる朝鮮漆液を以つて製した鰒貝と夜光貝の螺鈿細工で政務總監の馬と金允植子爵の書を現した衝立、ポプラ製の茶櫃、各食器を首めとして脫臭肝油、荏油、ボイル油、落花生、大豆油、魚油、石鹼

■大樟等の鞣皮 その製品朝鮮皮、濾紙等、各々著々奏功しつゝある同所の朝鮮化學工業開拓の大事業を物語るに十分なものである、つゞいて同所醸造試驗部の出陳を一覽するに、籾殼燒の燒酎、改良藥酒、安道の山中に生ずるものにて從來委棄して顧みられざりし山生果物一平厩物利用の火酒、山葡萄の燒酒、一半賞酒、苺含利別、忠北清州產の鐵分を含有せる炭酸水等を始めとして、鐵子、ジャムまでその原料をも並べて見せ、藥酒配合率の說明とその成分まで現したる

■又赤白葡萄酒 デアスターゼの試驗品等何れも朝鮮產の原料を巧妙に利用した行り方が斯業者に多大の資料を供給するものあらんと思はれる、最後に傳習所染織科の出品を觀ると苧布、春布について新羅を經とし絹糸を緯とした官紗、質を麻の如く硬化せしめた新羅織、玉珠の葺毛を利用した保溫の効のといふ玉珠織以下朝鮮織物の改良と、朝鮮染色法の改良を見せた各種の絹、麻の織物、絲等一方朝鮮人の家庭工業の發達に資し一方支那輸入品防遏に屆めてゐる熱心な所員の研究と指導の効果を窺ふに足るものが充分に在る。

水產大會

朝鮮全道水產業者懇話會は八日午後二時半から共進會場內慶會樓で開催された、此日園遊會は鍾路パゴダ公園內で催される筈であつたが折惡く雨天の爲めに慶會樓へ變更した譯で定刻に至るも池を繞らしたる慶會樓の階上及び階下には目覺むる許りの萬國旗と紅白幔幕の間から瀏喨たる音樂隊の奏樂が起り場內衣香帽影實に素晴らしき盛況を呈した、軈て來賓一同階下の宴席に就くや席の中央には檜垣道長官、關屋學務局長、生田內務部長、庵原技師等を始め前日來中の試驗場內にて開催された九州各縣水產講話會に列席したる農商務省水產局長松崎伊織二氏、同省技師伊谷以知二郎氏、同北原多作氏並に岸上理學博士等の來賓あり主人側には又全鮮水產業者の主なる代表者參列賓と近來稀なる盛會であつた、斯くて宴の始まると共に朝鮮水產課長大原氏は起ちて一場の挨拶を述べ、これに對し又松崎水產局長の謝辭あり瀏喨たる音樂隊の君か代吹奏裡に檜垣京畿道長官は起ちて萬歲を三唱し一同これに和したるが一同盃を擧げて和衷靄然たる盛會であつた次で第二の煙竹と共に階上各種の模擬店を開き餘興としては生魚つりぼりの興趣多きものもあつたが席上には猶ほ夥多の校書妓生連の斡旋するあり斯くて午後四時半主客歡を盡くして散會した

水產懇話會園遊會＝慶會樓にて＝（向つて左）松崎農商務省水產局長（右）大原朝鮮水產組合組長

總裁逸事 式場に於ける綱島氏說教の一節

秋雨のそぼ降る七日の午後二時からも嚴肅に執行された故朝鮮銀行總裁市原盛宏氏の葬儀の際綱島佳吉氏のせられた說教中には未だ人の知らぬ故人の逸話の多くを說かれた、其中に

▲故總裁の性格 を追懐なく語る一節があつた、市原君は最初教育に從事し同志社、東華學校等に教鞭を執られて居た、當時良教師として一般に尊敬せられて居たが市原君自身としては自分は教育家でなく實業家となりて大に其手腕を奮うて見ようと云ふ抱負があつた、即ち明治二十八年同志社を辭して日本銀行に入つた、三十二年に川上鶴原其他の諸氏と共に連袂辭職の事ありて後市原君は暫らく閑散の身となつた時の文部大臣樺山伯は

▲市原君の學德 を發し遊ばして惜くのは人物經濟上から云つても惜いと感ぜられ東京高等商業學校長に推薦したく考へられ德富猪一郎氏を介して相談せられた、元來同校長は奏任待遇であるが市原君が諾すれば勅任にすると云ふ話であつた、所が市原君の曰ふには自分の今日までの經驗に依れば教育家となるよりは實業家となつて大に奮闘して見たいとあつて辭退をした＝此話は樺山德富市原の三氏より外には誰れも知らぬ話で今度來鮮の途中德富氏から此逸話を聞き私は故人に對する

▲尊敬の念を強 めた、遊んで居る際道險就職口のあるに不拘辭退をして自分の進む道に向うた一事を以て見ても故人の人格は窺はれる享年五十有八と云ふ年は若い年ではないが又老年でもなく云はゞ中老で眞個の仕事を爲すは之れからで

▲眞に惜ましい 極みである、が又考ふれば大西博士は四十未滿にして逝き恩師新島先生は四十八にて永眠せられた、新島先生に比せば尚ほ十年の天壽を全ふせられた譯で不幸とも云はれない、伊藤公は六十九、井上侯は八十一歲にして薨去せられた、而して吉田松陰は三十歲にして一身はたとへ武藏野邊に朽ぬともとゞめをかまし大和魂」と詠じて武藏野の露と消えたではないが、人間は肉體をのみ此世に止むるを以て偉いとは云へぬ、五十有八にして逝いた故人市原君が精神上に遺して行つたものも亦大なるものがある。

飛行機觀覽

▲本月十七日迄毎日飛行時間合に龍山練兵場格納庫內に於て觀覽に供し係員より說明す
▲觀覽料一人五錢小兒及制服軍人學生參錢三十人以上は半減
京城協贊會

家庭博覽會 名士の來場頗る多し 雨の日の家庭博の賑ひ 魔術の女王天勝も來る

八日午後の家庭博は秋雨のシトシトと降つたにも不拘知名の士の來觀非常に多く來賓室では其れから其へと話に花が咲いて却々の大賑ひ代議士の田村新吉氏及び鹽澤利一氏が來られた後には家庭講演を願つてある同志社長の原田助先生に綱島佳吉氏及び山本牧師等が來觀せられ雨の爲めに講演の出來ないのを殘念がられる、十日から共進會の演藝館でサロメに扮する天勝孃は前田支配人を連れて見物に來る夕方には仁川驛の美妓連が入つて來て雨の日に似せない却々賑ひ團隊は平北宜川郡・江原平康郡公立小學校、鐵原公立尋常小學校、南陽公立普通學校、瑞山公立普通學校であつた、八日は雨の爲めに奇術も家庭講演も延期となつたが九日は雨さへ上がれば、天洋一行は正午過ぎから絹子、菊子、不二子など云ふ美人連を引き連れて乘り込み大魔術と種明しを見せるさうで午後七時からは後庭で家庭講演會が開かれることになつて居る

記念品と製作所

李王職美術品製作所にては本月一日より始政五年記念朝鮮物產共進會を記念する爲め記念メダル、束髮簪、簪[illegible]文鎭等を賣り出せるが多大の好評を博し盛なる賣行ありと因に十圓以上の價額買求者には景品として別製銀製メダル一個を送呈す可しと

寶探し種類變更

京城協贊會にて來十日施行の寶探しの種類は左の通り一部變更せり
一等白米一俵並に簞笥一個以下十二等迄約二千點價格數百圓

● 京城三田會の發展 [illegible]
以て成る三田會は過日高鮮ホテルにて[illegible]日報社長、[illegible]木下立安氏、井田清三氏、石田[illegible]小松綠氏、小宮三保[illegible]等の歡迎會をなし[illegible]も有たるが學事視察のため來京中の[illegible]は甚だ嬉しく[illegible]計り可く當地の同窓者[illegible]協議中なるが三田會事務所は[illegible]商會內に設け[illegible]入會を歡迎すと

至急御披露

大成功を以て京城唯一の演劇たる本旨に從ひ今九日午後五時より大阪歌舞伎若手の新昇を以て御披露演藝を爲し引續き七日間に打上げ次は
市川眼笑、市川
新昇 切り上等の大活動寫眞を提供す何卒御觀覽御評判奉希候
日活會社專屬 壽座 々主敬白 電話五七八番

今日の演藝館

▲御代の榮 若子、小染、律榮、花子、高子、玉龍、花龍、小ぼたん、千歲、兵代、吉力、丸時、男、光枝、清治、政千代、久子
▲つひのよるべ 若龍、政男、三四、小ぼたん
▲地方 その、香代、若一、次郎、丸八、金五郎、ぼたん、小菊、金玉、おたつ、百太郎、信子、一若、文子、お岸、ぼんた、福丸、三大
▲鳳來儀 碧桃、鄭明玉
▲撲蝶舞 徐彩仙、鄭仲仙、李芙蓉、金明香、朱寶貝、金錦月、李桂葉、陸蘭花、紅衆玉、黃錦鳳
▲春鶯舞 張紅梅、曹山月、姜笑春
▲夜之部
▲五羊仙 ▲三味線 ▲春鶯舞 ▲劍舞
僧舞 張紅梅、李梅巴、李梅紅、河蘭紅、曹山月、張彩玉、姜笑春

大阪三品特電

▲八日後場
九月限 一一七、二〇 一一六、七〇
十月限 一一七、五〇 一一七、四〇
十一月限 一一八、〇〇 一一七、九〇

[illegible] 五〇〇、一〇
[illegible] 四九、九〇
京阪電鐵 [illegible]
和歌山電鐵 [illegible]
今治紡績 五〇、一〇
合同紡績 一二三、〇〇
日上組 [illegible]
昼 九六、八〇〇

▲八[illegible]（昭和綿布商）
[illegible] 一一、八四 [illegible]
[illegible] 一二、一四 一二、四七
安値 一一、八四 一二、〇七
止め 一一、七八 一二、〇七 一二、三五

東京公債直取引

▲八日前場 五分利 九七、〇〇 五分利債

米況

[illegible]大阪[illegible]八百石賣⊕五百石買五百石買

▲俄然上伸す 大阪後場寄來着にて八[illegible]

[illegible]

▲[illegible]
旅な發布したる從來問題は鮮物商令よりの請願に依り一ヶ月延期し十一月十日より實施する事に許可ありたりとの事務取引所の問題は暫時役の如く立合中の期月は從來の標準米に依るは勿論にて一月限より標準米改正する事

後場

安値 八圓六十三錢
寄付 八圓七十二錢
直 八圓七十六錢
高 八圓六十錢
出來高 一萬二千八百五十石

十月限 千九百石
十一月限 二萬七百石
十二月限 一萬三千六百五十石

宇治茶直接販賣

喫茶の好時季
家庭の御用と來客接遇の重寶として格別の御愛顧を蒙れる宇治茶は時恰も喫茶最適の時季香味何れも旨暢の價格あり此際多大の御用命希上候

御茶銘錄定價表（二百目ニ付）
◎玉露製 ◎煎茶製
質の香 七拾圓 白雪 一圓五十錢
桂の香 五圓 [illegible]
相生 四圓 [illegible]
鶴の友 參圓 [illegible]
松の露 貳圓 [illegible]
[illegible]

◎正價ノ事
◎御注文ハ直ニ御届ケ致シ候
◎金高五圓以上ハ送料[illegible]
◎小包郵便ニテ[illegible]
◎但シ金高[illegible]

製造本舖 京都宇治[illegible]
營業所 京城[illegible]
問屋 井上六平
（振替東京六一二五三 大阪七一〇）
販賣御望ノ方ハ[illegible]

惡疫豫防と 柏村博士の ヘルプ
▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり
▲故に此際何人も腸胃の健全を主効とするヘルプを服用せよ
定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 一圓
主治効能 [illegible]
本舖 東京市日本橋區本銀町 津村敬天堂

新刊書御案內

書名	著者	定價
戰に使して	楚人冠	一、六〇
銀笛	小杉天外	一、三〇
歌に入る迄	金子薫園	一、七〇
熱い血と冷い頭	米左近	一、〇〇
人間世間	松崎天民	一、九〇
文藝批評論	樋松安譯	一、三〇
批評の要訣（通俗）	小山、上田	一、七〇
通俗性慾と花柳病	佐藤榮	一、七〇
名人落語十八番	三遊連柳連	一、五五
將棊必勝法	木見金次郎	一、五〇
諸貸金取立法と貸倒れ復活策	武知彌三郎	一、三〇
日支交渉に依る帝國の利權	松本	一、五〇
獨逸の教育	吉田熊次	一、三〇
採鑛學（下卷）	山口義勝	一、三〇
解說力學（下卷）	重光	一、三〇
新釋中學名詩全集	池永潤軒	一、六五
官話萃珍	富原	一、八〇
作文本位英文法辭典	入江	一、二〇
大禮奉祝唱歌	文部省選定	一、〇〇
踏査研究南洋寶庫	神保少佐	一、八五
向上の鐵槌	鈴木大拙	一、二〇
兩京去留誌	鵜崎猪一郎	一、五〇

大阪屋號書店 京城本町電話二〇八六番 振替京城二五七二

入院隨意（普通病室並に隔離病室）
京城旭町一丁目（元鈴木醫院跡）
小林醫院
醫學士 小林千壽
電話六九二番

資本金 壹百萬圓
政府貸下金 三十二萬九千二百圓
農工債券發行高 百參拾萬圓
株式會社 漢湖農工銀行 京城南大門通二丁目
銀行長 白完爀
支配人 遠山熙
支店 開城、春川、太田、公州、清州、忠州、江景、鐵原、論山
電話（長距）五五四番 五五二番 五七二番
當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

新學期 女子大學通信教育會編 家政講義 會員大募集
學科〇修身教育心理法制經濟 家事作法料理裁縫生花園藝其他
入會金免除〇會則見本無代進呈
東京小石川目白臺 女子大學通信教育會
京城南大門通 精美堂出版部

ポンプは熊平
京城本町二丁目
熊平支店
電話六二四番・振替京城二二番

共進會見物
記念のお土産には共進會々場で寫眞をお撮りになるのが第一です
○會場にお來しになつた時一寸御用命を願いますれば會場內の何處でも好い所を背景にして寫します、而してお歸へりまでにはチャンと出來ますから共進會見物の記念としては何よりの物です
○出品物の寫眞は特に勉強いたしますから精々御用命を願います
共進會々場 東亞の高塔の下 エム寫眞館

自轉車はミノヤに限る
販賣品は極度の安價にして
修繕は至極親切叮寧に致します
京城南大門通 新井藥舖前
電話一二三七三番

高等煎餅型、燒印、刻印、木型一式 製造販賣並に修繕
仁川花町壹丁目 榮士政楠工場

金剛探勝案内(二)
内金剛より外金剛に至る

五日間の探勝、第一日長安寺を發し溪流に沿ふて上れば、右手の傍溪より清流の迸しるに逢ふ、これを傳ふて上ること約十丁にして明鏡臺あり溪流を上り右に靈源洞に沿ひ行くこと二十六丁にして靈源庵に達す、こゝを出で黃泉江に戻り、右方約二十三丁を過れば水簾洞の飛流あり、之れより上方は嶮峻にして從とても定かならざるを以て、普通遊覽者は引返すを可とす、歸路には安養庵に立寄り、下流八丁の長安寺に返り一泊するか、又は明鏡臺を過りて三佛巖を一覽し、白華庵か表訓寺に一泊するも妨げなし、白華庵には指空、翁、西山、松雲等高僧の浮屠あり

第二日、長安寺表訓寺間は距離二十一丁にして、表訓寺より正陽寺は上り七丁とす、正陽寺は寄り道なるも一時間にて往復するを得るが故に、有名なる觀山の位置檻樓の在る所なれば一遊の價値あるべし、表訓寺前溪の上流は名勝萬瀑洞にして、此處より摩訶衍庵の手前獅子巖にまで十丁許の間を其區域とす、途中に普德窟あり、表訓寺摩訶衍間は十八丁、長安寺摩訶衍間は正陽寺の往復を加へて一里半程に過ぎず。然れども觀る所多く又道路嶮しきを以て、上りには五時間餘を要し、下りには二時間位にて長安寺に歸著するを得べし。故に健脚者は摩訶衍庵に一泊するの要なく、優に此の間を往復觀覽するを得べきなり。

第三日、朝長安寺を發し末輝里に出づ、この間は前日入山の際通過したるところにして二里廿三丁あり末輝里よりは前日の化川街道と別れ、右に折れて細洞に到る其間四里車馬を通ず、これより溫井嶺の山越にて路頗る嶮しければ徒歩するを要し、上り下り三里十丁約四時間乃至五時間にて溫井里に達するを得。途中に萬物相の奇勝あり、溫井里より再び上り來らんには是れ亦一日を要する道程なるが故に、序に觀覽するを便なりとす。

第四日、朝溫井里を出で極樂峴を踰え神溪寺に至る、距離二十丁三四十分間にして達す、こゝより普光庵前を過ぎ外山の名勝玉龍溪に入る、雍勝せる溪流を幾回か左渡右涉し、この溪の殆ど中央に位置する玉流洞を經て九龍淵に達す、こゝもまた步道險阻たるため距離一里半に過ぎざるも二時間乃至三時間を要し、尚この奧の八潭は來路を少しく戻り溪流より九井峯に上り遠望するを得るも上下約一里の險を攀むるを以て普通の遊覽者は寄り道に時間を費すことなく、神溪寺の後庭に歸路に就くを可とす(溫井里九龍淵間往復四里半六時間餘を要す)

第五日、朝溫井里發三里七丁にして高城に達す。海金剛乃ち立石浦までは僅一里あり。高城に達する數丁の處にて左方に折れ、約三町にして三日浦の湖水あり。海金剛遊覽後は溫井里に戻るか又は長箭に到り宿泊す長箭は溫井里よりも約一里遠距離にして海金剛より五里九町なり。此の間孰れも道路平坦なり。

四日又は三日間の探勝。(一)四日間の探勝は前記内山第一日の長安寺より明鏡臺、靈源庵、水簾洞等の遊覽を省くにあり。山來内山の勝中代表的の景色としては萬瀑洞を推す、今この明鏡臺、靈源庵等は陜溢を以て名ある勝境たるも、通路此の如く難にして普通の脚力にては、容易ならざる險儀を見るが故に、先づ代表的景色の萬瀑洞前後の遊覽にて、滿足せられざるにあらざれば、強て第一日の探勝を試みざるも可なり。而して又三日間に觀了せんとせば、右第一日の探勝所と外金剛中の高城海金剛を省くにあり。海金剛は滄海萬里の濱、突兀たる奇岩波間に簇立して奇勝たるは論なきも、常に海洋に慣れたる人々には別に著しき印象を與へざるべし、故に此の兩日を省けば三日間にして、名勝金剛の内外を槪觀することを得るなり。

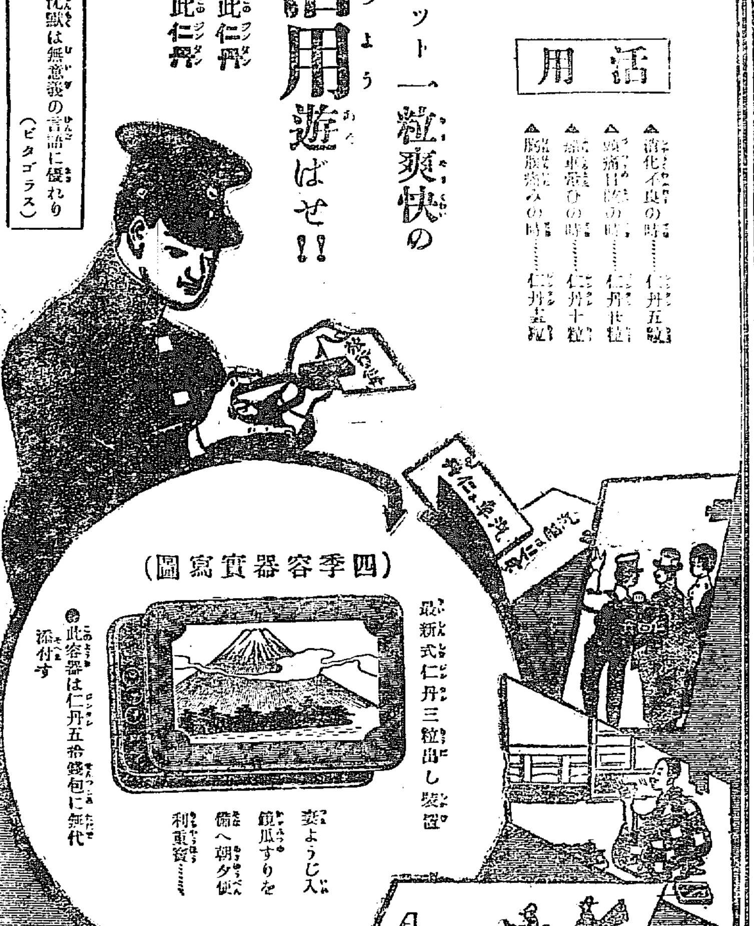
外金剛より内金剛に到る

抑も金剛の表裏を論ずれば、山嶽奔馳の形勢より觀て、外山は山の陽内山はその陰たるを知るべく、交通關係の如きも海陸共に外山を便利とし、内山を不便なりとなすなり。海に縁なき内山は陸路とてもその隔絕餘りに甚しく、一たび鐵道沿線と離るれば、人煙稀薄なる山嶽幾々の道程卅六里の遠きを渉り、自動車すら猶且七時間以上を要するなり。元山溫井里間は陸路二十七里にして、兵しく自動車を驅るにしても、四時間内にて足る。況んや海上交通の便あり。故に目下は京城に近きため、内山より遊覽を始めて外山に及ぼすもの多きも、他日は上述の關係よりして、或は外山より内山に及ぼすもの多きに至るや知るべからず。この外山を前に看て内山に及ぼす順序は前項の順序を顚倒すれば可なるも、先づ試に列記するときは、第一日溫井里‖神溪寺‖九龍淵往復。第二日高城‖海金剛往復、第三日萬物相に立ち寄り溫井嶺を越え細洞‖末輝里‖長安寺。第四日第五日の兩日にて内山の諸勝を探ぐるものとす

千生瓢　原稿不著本日丈け休掲

十月十日より五日間
三越の大賣出し
よせぎれ見切反物例年の通り澤山取揃申候
京城本町　三越呉服店

消化と壽けし　仁丹



旅行 外出 運動 にキット一粒爽快の
仁丹を御活用遊ばせ!!
疲勞を防ぎ良い氣持の此仁丹
惡疫を防ぎ元氣を增す此仁丹
片時も離されぬ!!

金言　沈默は無意義の言語に優れり(ピタゴラス)

活用
△消化不良の時……仁丹五粒
△頭痛目眩の時……仁丹七粒
△船車醉ひの時……仁丹十粒
△腹痛痛みの時……仁丹廿粒

四季容器實寫圖
最新式仁丹三粒出し裝置
●此容器は仁丹五拾錢包に無代添付す
妻楊枝入　鏡　爪すりを備へ朝夕便利重寶……

内外博覽會金牌受領
宮内省御用　皇后宮職御用　各宮家御用
最も品位の高い
淑女的紳士的化粧料として
近來一層の聲價を博せる……
レートヂェリー
△肌を爽かに色艶を增し　△白粉下化粧押へとして化粧を美しく永保さす
東京・平尾贊平・大阪

生殖器の短小
ご發育不全、包莖、陰萎、遺精、早漏、勃起衰弱、交接不能、腦神經衰弱等の患者は速に自宅で秘密に完全療法を施し強大に逞ましくなる空前の奇効を知らるべし(ハガキで照會次第)秘密療法說明書を無代贈送す
△最新の學理はアウグスト博士の發表
△巧妙なる治療器は日本政府の專賣特許品にして最も完全なる治療器也
△素人自宅秘密用効力一回毎に目に見へて諸大家の賞讃湧くが如し
東京神田　電話本局三八九二　東京空療法研究所

婦人科　産科　入院分娩應需
京城旭町壹丁目　院主　衣笠茂
中央婦人病院　電話二三四〇番

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
芳吉丸　十月　日後四時出帆
若代丸　十月十一日後四時出帆
神代丸　十月十五日後四時出帆
大有丸　十月　日後五時出帆
第二太湖丸
○群山、大阪行
土海丸　十月　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　小倉丸　十月廿六日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　十月十四日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　立神丸　十月十九日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　十月廿八日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　十月廿二日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　十月十三日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
大池回漕部

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船株式會社　芝罘、大連行
共同丸　十月　日後七時入港　十月　日前九時出港
鎭南浦、清津、浦鹽行(元山出帆)　一號鶴丸　月　日後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆)　第三共同丸　月　日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引乃以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
宮島丸　十月十九日
漳州丸　十月十一日　午後五時出帆
溫州丸　十月十五日
○×木浦、釜山、長崎行
安東丸　十月九日　午後二時出帆
△天智丸　十月十八日
○×鎭南浦、大連行
安東丸　十月二十日　午後二時出帆
天智丸　十月十三日
○○鎭南浦、關門、神戶、大阪行　月　日　正午出帆
○△△群山、釜山、横濱行
千珠丸　十月九日　午後四時出帆
チヨイサン丸　十月廿一日
○△△大連直行
千珠丸　十月廿七日　正午出帆
チヨイサン丸　十月十六日
○元山、清津、浦潮行(釜山出帆)
地久丸　十月十七日
宮丸　十月廿七日　午後九時出帆
△城津丸　十月十二日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸　十月廿九日　午後四時出帆
高雄丸　十月十一日
御注意
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番二〇番五五〇
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連太沽牛莊行
高砂丸　十月廿一日　正午出帆
三河丸　十月　日　正午出帆
相模丸　十月三十日　正午出帆
○青島直行(大連より寄港)
江原丸　月　日　出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船
全羅丸　十月十五日
京畿丸　十月廿五日
咸鏡丸　十月十九日　釜山發
昌平丸　十月十一日　元山發
鏡城丸　十月十六日　元山發
竹忠丸　十月十四日　元山發
永興丸　毎月廿八回　元山發
嘉島丸　十月九日　釜山發
江陵丸　毎日　釜山發
三浦丸　十月十四日　釜山發
統營丸　毎日　釜山發
順天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　十月十二日　木浦發
公州丸　十月十三日　木浦發
宗信丸　十月十三日　仁川發
江原丸　十月十六日　仁川發
晋州丸　十月九日　仁川發
全南陽丸　毎日午前　仁川發
平安丸　十月十六日　群山發　十月十三日　若松發